關西大學新聞

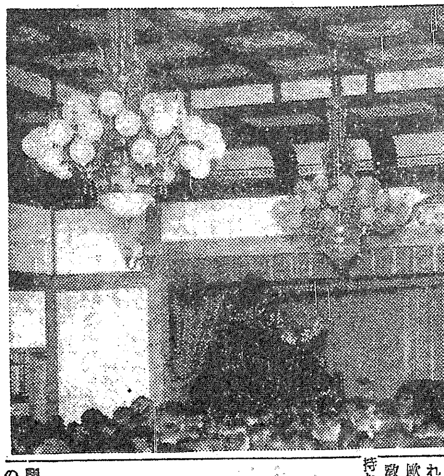
(毎月二十日一回發行)

本紙定價 一部金五錢
廣告料 一行十五字詰 十錢
大阪市住吉區阿部野筋七丁目八〇
編輯發行印刷人 青木實
發行所 大阪府三島郡千里山村片山
關西大學學友會新聞部
電話吹田 一二三番
振替大阪 一二八七五

新入生を迎へ 歡喜滿つる千里山學園

學園生活の力強き第一步 十四日入學式擧行さる

櫻花咲き誇る四月十四日恩賜威德館に於て昭和九年度入學式が午前十時より擧行された、今年の入學生は法科二百六十名、政治科三十二名經濟科五十九名商科三十五名哲學科十名、英文科八名第一豫科八十四名、第二豫科二百拾四名、合計七百二名である。是等若人が或は學部に或は豫科として新たに活氣に滿ちた新生活に躍進するわけであるが、此所に彼等の前途を幸あれと祈る次第である。この日仁保學長は左の訓辭を與へられた。



仁保學長訓辭

大學は國家に樞要なる學術理論及應用を教授し、並にその蘊奧を極め、兼ねて人格を陶冶し、且國家思想を涵養すべき所である、諸子は先づ學と術を研修すべきである、現在帝國大學令の認むる分科の數は百二十一あつてそれ〴〵法學二十三、醫學二十七、工學十、文學二十三、理學十七、經濟學五、農學二十三、である、諸子は其一つの專門學に望む態度は深く狹きものであるが、之を鵜呑にする事は禁物である。其處に色々な弊害を伴ふ、物質主義マルクス主義と雖も完全なる學說ではない、常に批判的態度を取るべきである。學は疑に起りて學が成立ち智識が完成するのである、然し疑を起し之を解決しなかつたならば何の役にもならぬものである。

次に人格を修養せんとするならば、人格そのものゝ意義を明白にする必要がある、今日行はれつゝある人格を尊敬するといふことは禮儀そのものである、然るに今日禮儀の眞面目に行はれて居るのは唯軍隊に於てのみであつて社會、學校に於ては實に放縱である、何故斯の如く敗頽を來たしたといふ事は要するに禮が青年學徒において自由を以て我儘とする誤解に生じるのである。學生々徒間において禮の行はれる時は其處に融和々合が生じつまり自己の人格を大切にすることになるのである、終に國家思想に關しては思想其ものは決して悪いものではなく思想そのものゝ意義を明らかにするを要す

思想あつてこそ人間であり向上し發展するものである、故に學に從事する者は最も多くを體得し其正邪を選擇すべきである眞理は平凡にして中正に存し左右傾は中正を失するものである近頃左右傾の巨頭連の轉向を見るは實に中正に歸するものである。

無敵の思想の中にて最も必要なるものは國家思想の把握である。

新たに入學された諸子は個人的思慮に一生を誤る事なく中正を步むべきである。

と結ばれた。續いて學部入學生の宣誓、第一大學豫科入學生の宣誓、第二大學豫科入學生の宣誓あつて式は滯りなく終る、時に午前十一時五分であつた

新商學博士

本學經濟學部教授 武田鼎一氏に 學位を授與さる

武田鼎一教授は兼ねて學位論文提出中の處今回審査終了本月三日附けを以つて商學博士の學位を授與せられた正に吾が關大學園の一大收穫にして全學園を擧つて喜ぶべきことである之を以つて最近我が關大學園の學究的熱の旺盛なる一端を窺ふを得べくそのトップを切られた同教授に對して衷心の祝福と[illegible]ふ教授は限界効用說マルクス學派の矛盾を一々指摘し反駁せられ教授獨自の立場よりして全體觀的に考察せられて平均價値說を唱へられてゐる事は我が學界は勿論遠く歐米の學者のよく知れる處である教授は學部の他專門部にも講座を持たれそして常に活氣ある講義は學生に非常な好感を以つて迎へられていつも大入滿員の歡を呈してゐる。

何教授に今回學位の授與せられたにつき感想を伺ふと。

「何、別に感想は有りません私は大學校卒業後は實業會に入り後關大に迎へられて六年になります私の年齢から云ふと學位を取るのは[illegible]られてもそれは當然で別に喜ぶことは有りません。

學位論文ですつて、それはもう一年も前、大學新聞にも出したし書物にも出してゐます」と

なほ教授に關大についての感想を尋ねてみると。

「學則の改革案は私は就職の時からつくつてゐます。今回部長制度確立したり又教授の受持時間の減少された事は改革の第一步でありますが大體建築等は金さへあれば半年か一年位で出來上るが、人物養成は仲々そう簡單にゆかない、その意味で此度の助手制度の設置は非常によろしいです私は以前から何よりも第一に之を提案してゐたが要は助手を誰に決定するかゞ問題である。之にはよく審査して決定しなくてはならない。かくして將來一日も早く關大學園は關大卒業生で固めなくては駄目です」と

眞に我關大に對して熱意と理解のある教授に吾々關大學生は恐縮し學生の自覺すべき事を痛感させられる。

因に教授の著書を紹介すると、經濟學新論、社會經濟新原理、全體觀的社會經濟學、統制經濟の基本理論、經濟價値研究等最近又著書が出版されるらしい。

官公私大を壓して 助手制度設置さる

——近日氏名發表——

近年來より學生間に論議せられつゝあつた助手制度の設置されたる事實は時代の趨勢に適合したるものにして、かゝる制度が今日まで設置を見なかつたのは寧ろ關大として實に遲きに過ぎる感があるだけ、教授學生一般から喜びと期待を以つて迎へられて居る、此の制度確立により優秀學生の登龍門が遂に開かれたわけで關大學園に一大エポックを劃したものである。なほ助手の研究費は東大に次ぎ、他の官公私大を斷然壓倒してゐる事は實に關大の躍進を如實に物語つてゐるもので嬉しい限りである第一回の助手の人達は近日教授會で決定される豫定である。

◇京大は昨年の事件以來教授の充實に努めて來た。即ち法學部では新學期より東北大石田文次郎・立命館の田島順の兩氏を教授に、[illegible]氏(國法學)及び小野木常氏(民事訴訟)を助教授に、又法理學は本學學長仁保博士を講師に迎へることになつた。

◇大阪帝大工學部では一學生の秘した學友會講演部の事業に對する全般的な批判をなし殊に講演旅行に對する批判は今や學生間に一大センセーションを投げかけ學友會自體の反省を促す學生輿論の勃發の觀を呈してゐる。

◇東大では吉田教授の後任として京都帝大の和辻哲郎博士が招かれ論理學第一講座を擔當することになつた。又美濃部・立の二教授の停年退職に件なひ憲法講座は新進宮澤俊義學士、國際法講座は同じく安井郁學士を夫々教授に昇進其擔當を決定したが、是等斯界の異數の拔擢は斯界の注目を呼んでゐる。

◇明治の詩壇にその人ありと云はれた二高教授土井晩翠教授は今回二高を辭し四十年の教壇へ[illegible]ることになつた。

◇昨年京大を去つて本學大學院講師となつた宮本英雄氏及び本學で手形法の講座を擔當せられて居る竹田省博士の兩氏は立命館の講師を兼ねられることになつた。

新聞漫談(三)

新聞部々長 賀來俊一

前回へ述べ續けた通り、蓋し「新聞」といふものは、唯々日常巷間の俗事を報導するのみが其任ではなく、もつと重大な社會的使命を帶ぶるものであると考へたのが所謂、當時の識者であり、先覺者であつたことは其一人たる櫻痴山人福地源一郎の感想や、抱負の裡に充分うかゞはれ、意圖も祭せられるところへ、曩に、黑船の來航や浦賀の空砲に眠りを醒まされた、我國の上下は擧つて、開國策は申すに及ばず、[illegible]の進中に到るまで、如何にしても外國の事情を知悉せざるべからずといふ意慾に燃えて居たのであるから、爰に幕府の蕃書調所で、バタビヤ新聞といふのを發刊したのを嚆矢として、木村彥藏とか、柳川春三とか或はベーリーなんどの面々によつて、次ぎ〳〵に「新聞紙」といふものが發行せられ、[illegible]に舞臺が明治の幕を切つて落した頃には中外新聞日々新聞、江湖新聞など、いづれも新聞といふ種類のもとに二十種ほど世上へ流布せらるゝに至つたが併し未だ新聞としての體裁を具へたものはなく辛やく明治三年頃になつて横濱毎日新聞の誕生を見るに及んで、「新聞」らしい體容を表現することゝなつた。

サテこゝまでになると、勢ひ其內容の變革に手が延びる、即、前述福地居士の理想實現期に進んで來た次第であつた。然るに、時は黑船のショックで一段落をつけたところへ、更めて國內的政爭が擡頭する時代になつて來たのに對して、政府は「新聞紙發行條例」といふのを制定して、「妄りに政法を說くことを許さず」とか「政法は妄りに批評を加ふるを許さず」など一方ならず制裁を加へるやうになつて來た。[illegible]から觀れば馬鹿々々しい問題で記者の拘束せられるもの、發行停止を命ぜられるもの、竟に政府のアブノーマルな忌諱に觸れて廢刊の憂き目に遭つたかと思ふと、西田傳助などの[illegible]中で、東京日々新聞が創刊され、こゝへ入社した例の福地居士が重鎭として[illegible]論說に筆をとり、又同年頃(明治七年)のも[illegible]に依て「日新眞事誌」[illegible]ジャパン・ヘラルド[illegible]まぎらはし[illegible]れ、又前島密一時の[illegible]「郵便報知新聞」といふのが、太田傳兵衛といふ人に發刊された[illegible]た。之に次で「朝野新聞」が「曙新聞」だとか、いづれ[illegible]ますます明治初頭、政治史の[illegible]ロフキルとして後世に貽された[illegible]アヂやデマを活字にした次第であつた。(つゞく)

春四月學府關大の飛躍

當局の大英斷! 新制度の展開

新に法文・經濟學部長設置さる

關大生れて此處に五十年今や私學の權威として自他共に許す我學園も改革の必要に迫られて居る。之に動かされてか當局は學則改正委員會を設置して銳意改正につき努力を拂ひつゝある。即ち今回法文學部長、經濟學部長の兩學部專屬教授の設置、教授受持時間の減少を斷行した。

尙仁保學長は兩學部長兼務となり、豫科長は從前通り村上喜貞教授である

又兩學部專任教授は二十日教授會によつて左の如く發表された。

法文學部教授
部長 岩崎卯一
內多精一
大山彥一
木村健助
新町德之
武內省三
中谷敬壽
西村信雄
野村次夫
村上喜貞
森下政一

經濟學部教授
部長 水谷揆一
安藤光
賀來俊一
曾屋俊雄
瀧澤喜子雄
武田鼎一
本莊榮次郎
正井敬次
吉田一枝

尙今年度新任講師は左の通りである
岩井勝二郎
[illegible]倉納音
[illegible]覺
[illegible]吉
[illegible]鐵
[illegible]智
[illegible]彬
[illegible]次郎
[illegible]正道
[illegible]進治
[illegible]乃
[illegible]則

募集
金五錢
一回發行

躍進途上の政經書院新刊書
京都河原町二條東北角
振替大阪三五七五四番
電話(上)[illegible]

物質の哲學的概念
梯明秀著
本書は新進の學徒、梯明秀氏の始めて世に問はるる第一論文集である。物理科學、生物科學、社會科學等の種々なる領域に於ける根本問題を捉し來つて、唯物論の本質なる物質概念の光の下に、それらの體系的な關聯を照し出し、その課程解決の方法と方向とを與へてゐる。堂々五百五十頁、その正確なる認識と嚴正なる論理と學的良心に聽け!
幾年イデオロギー批判、ジャーナリズム論、時評に到つては現下の慕々たる諸問題を痛烈に批判檢討してゐる。汎く現代の若き學徒に獻ぐ。
菊版五五〇頁 上製函入 定價三・〇〇 送料・一八

スポーツ・宗教・社会
林要著
隨筆家の隨筆は世に多々ある。專門家ならぬ人の隨筆こそ新時代に相應はしい讀物であらう。著者は人も知る有名な經濟學者であつて、夙に其ユーモラスな皮肉に富める漫文を謳はれてゐる。本書はスポーツ・宗教・社會の三部門に現はれたる現代の種々相を把へ著者の快心の言葉もて道破したる名著である。社會眞理に對する婉曲にして含蓄ある解釋書であり且亦時事問題の懇切にして頬笑ましき註釋書でもある。
四六判二七〇頁 上製一函入 定價一・四〇 送料・一六

法學餘錄
法學博士 末川博著
法律學者の手になれる隨筆乃至漫筆は世上に多く散見してゐる。然し乍らそれは時代と俱に生きる進步的學者の手になつたものではない。今我が邦法學界の泰斗末川博士は「法學餘錄」と題して一書を世に問はれた。
この書は博士がその時折、實生活に即して論ぜられたるものの累積であつて、學者の手になつた生きた隨筆的論文集である。輕やかな形式の中に一讀肺腑を貫く眞實味が盛られてゐる。
法律は難澁なものであるとの誹謗は本書に依つて解消せられるであらう。裝幀また素朴なる素材を以つてせる時代の豪華版、讀書家の座右に敢て一本を勸む。
四六判二五〇頁 上製一函入 定價一・五〇 送料・一二

巴里
文學博士 太宰施門著
美醜交々混へて謎のコスモポリタン、巴里は今なほ吾等興味の對象である。本書は佛文學の泰斗太宰教授が、久しき企圖の下に苦辛して蓄積されたる資料と、廣汎なる知識を披瀝して編まれたる獨創的快業なることを誇る。
——大作家の巴里、文學に現はれたる巴里——サロンに、キャフエに、コメデイに、ブウローニュの森に、佛文學の中に見らるるこの都の姿は、著者の精緻にして克明なる文學的註解に依つて完全に鳥瞰された。數葉の寫眞を含んで偶數頁の歐文はバルザック・キユレール等々大作家の巴里敍述、奇數頁の和文は著者の努力の籠筆である。本書こそは巴里の文學的案內書でありそしてまた書齋の花である。
新菊版二七〇頁 上製一函入 定價二・五〇 送料・一六

獨逸精神史研究
デイルタイ著 細谷德三郎 富岡益五郎 共譯
本書は不世出の哲人デイルタイが文學及び音樂の視角から鋭く獨逸精神史の究明を爲した極めて興味の深い文獻である。
ゲルマンの國は今や混沌として左右の激濤の下に在る、而して其の命數の奈邊に歸するやは容易に逆睹さる可くもない。唯物的規定の方向の上に、精神の史的過程こそ追及されなければならない吾が國の史學が、單なる外來原理の直感でなく、特に獨自の觀點から再批判さるべきの秋に方り、再び本書の譯出を見る。學を愛し、智を好み、國を憂ふるの士に、敢て本書の一讀を勸むる所以。
菊版四六四頁 特洋布製函入 定價三・二〇 送料・二〇

危機の日本經濟
大阪每日記者 前芝確三著
非常時議會は國民注視の裡に再開され、何等の解決を見ずして徒らに續行されてゐる。危機の日本はどうなるか? 日本經濟の將來は如何に? 本書は尨大なる軍事豫算と、いとも怪しげなるインフレ景氣の根本に就いて、完膚なき迄にわが國家經濟の全貌をさらけ出した近來の快著である。
著者は斯波仙三として知らるる大阪每日新聞の有能なる經濟記者である。全卷に溢るる精緻周到なるその資料と、正確・辣剌なる才筆に親け!
四六判一五〇頁 假綴美裝 定價・五〇 送料・〇六

京大訣別 **記念法學論文集** 菊版六〇〇頁 定價四・〇〇 送料・二六
瀧川幸辰著 **刑法史の或る斷層面** 菊版二五〇頁 定價二・〇〇 送料・一六
吉川哲太郎著 デユウイに據る **教育學** 菊版三〇〇頁 定價二・〇〇 送料・一六
レーマン著 細谷德三郎譯 **個性の心理學** 四六判二二〇頁 定價一・五〇 送料・〇六

新訂 模範試驗問題集
高等試驗、豫備筆記口述、各官私立大學模範試驗問題集千餘頁
◇定價一册金一圓六十錢◇送料十二錢◇文信社編並びに發行
一、本書ハ嘗テ大正元年以降昭和八年ニ亘ル二十有餘年間ノ各官私立大學及國家試驗ニ於テ行ハレタル法律學經濟學政治學商業學哲學社會學文學及ヒ之レニ關スル諸種ノ各論政策等之レヲ五十六部ニ大別シ部ハ更ニ之レヲ編章節款トシ系統的學理的ニ網羅序列シ如何ナル種類ノ問題ト雖モ本書ニ於テ發見セラレザルナク實ニ受驗者無二ノ寶典ナリ
二、本書ハ大正六年初版發行以來江湖受驗界ノ好伴侶トシテ亦完全ナル指針書トシテ其ノ使命ヲ完フセリ這回層一層內容ノ整備ト其ノ充實トヲ圖リ且ハ紙量ノ經濟ト定價ノ引下トヲ慮リ以テ新訂版トシテ改訂ヲ加ヘ發行スルヲ得タリ
抑本書ヲ編纂スルニ方ルヤ大正元年ヨリ昭和八年度ニ亘ル二十有餘年間ニ施行セラレタル高等試驗及ビ各官私立大學出題ノ試驗問題ヲ悉ク集錄シ舊法ニヨル不要問題ノ削除、舊故出題者ノ整理新法ニ依ル編制組織ノ變更、增加學科ノ附加、出題ノ新傾向並ニ出題者ノ異動等ニ鑑ミ最モ懇切ニ最大洩ラサズ編述シ面目ヲ一新シ玆ニ第三十七版ノ發行ヲ見タリ、是ニ依リ受驗者諸氏勉學ノ一助トナラバ幸トスル所ナリ

東京 京都 帝大法経試驗問題集
附錄◇高等試驗問題集及び同改正試驗規則◇定價七十錢◇文信社編並びに發行
一、本書ハ大正十三年以降昭和八年ニ至ル十ケ年間ニ亘ル東京、京都兩帝大法學部、經濟學部ノ學年試驗ニ出題セラレタル諸試驗問題ヲ對照式ニ編纂シ之ヲ年度順ニ系統的ニ分類配列シタリ而モ各學毎ニ出題教授並ニ講師名ヲ揭ケテ各年度ヲ通シテ之カ出題傾向ヲ考察シ、諸子ヲシテ受驗準備ノ方策ヲ樹ツルニ便セリ。
二、本書ハ卷末附錄トシテ大正元年以降昭和八年ニ至ル廿有餘年間ニ施行サレタル高等試驗(外交、司法、行政)筆記試驗問題ヲ添附シテ高文受驗者ヘノ指針ヲ與ヘタリ

帝國大學入學提要
附錄◇入學試驗問題集◇定價一圓四十錢◇文信社編輯並びに發行
高等學校增設に依るその卒業生の激增は大學の入學をして近年一段と困難ならしめ此處にも悲慘なる入學地獄の嘆聲を叫ばしむるに至つた高校生諸君の面前には冷やかにも刻々諸君の生涯を決定する唯一の機會が迫りつゝある。大學の選擇!難關の突破!これぞ今や全高校生諸君の頭上に懸る最大關心事でなければならぬ。本書はかゝる情勢の下に於て眞に諸君の伴侶たるべく多年の經驗と最近の調査とに基いて、先に弊社發行にかゝる「帝國大學入學提要」を根本的に改め、帝國大學官立大學の入學試驗問題はもとより、各大學各學科の現況から其の卒業生の就職傾向に至るまで凡そ高校生諸君が眞に問はんと欲する所は悉く網羅し、大學の入學參考書として無二の指針たらん事を期した次第である。
尙本書の編輯に當つては日夜高校生諸君の親しき「帝國大學新聞」に直接間接負ふた所が多い。玆に改めて同社の謝意を表する次第である
昭和四年七月 編者しるす
本書の特色
一、本書は單に東京帝國大學を初め各大學各學科の現況、卒業後の就職傾向を述べ高校生諸君の進路決定に資したり。
一、本書は各大學各學科の入學、入學試驗狀況を述べ入學志願者の參考に供したり。
一、本書は東京帝國大學各學部教授諸先生の入學試驗に關する感想を述べ試驗の眞相を披瀝したり。
一、本書は各大學各學部の最近六ケ年間入學試驗問題を掲げ受驗者の準備に遺憾なからん事を期したり。

謹告
一、增訂に次ぐ增訂の爲による紙數の增加および紙價暴騰のため「模範解題叢書」「模範便覽叢書」は各十錢づゝ値上せざるを得ない事態に立ち至りました、右御了承願上げます。

法律経済模範便覽叢書

文信社編輯書名	版數	定價錢
新訂帝國憲法便覽	第廿三版	八〇
改訂行政法總論便覽	第廿八版	八〇
改訂行政法各論便覽	第廿三版	八〇
新訂民法總則便覽	第廿九版	八〇
改訂物權法便覽	第廿五版	八〇
改訂債權法總論便覽	第廿二版	八〇
改訂債權法各論便覽(上)	第十六版	八〇
改訂債權法各論便覽(下)	第十五版	八〇
改訂親族相續法便覽	第十八版	八〇
平時國際公法便覽	第十九版	八〇
戰時國際公法便覽	第十七版	八〇
改訂商法總則商行爲便覽	第十七版	八〇
改訂會社法便覽	第十七版	八〇
改訂保險海商法便覽	第十五版	八〇
手形法便覽	第十七版	八〇
刑法總論便覽	第廿六版	八〇
刑法各論便覽	第廿四版	八〇
國際私法便覽	第十四版	八〇
經濟學便覽	第廿五版	八〇
財政學便覽	第十六版	八〇
改正刑事訴訟法便覽(上)	第廿三版	八〇
改正民事訴訟法便覽(下)	第二十二版	八〇
法學通論便覽	第十版	八〇
哲學概論便覽	第七版	八〇
警察法便覽	第六版	八〇
破產法便覽	第二十版	八〇

法律経済模範解題叢書
◇文信社編輯◇答案基準 各册定價一圓十錢

書名	版數
副島博士監修新訂帝國憲法解題	第十三版
横田博士監修新訂民法總則解題	第十二版
横田博士監修改訂物權法解題(上)	第八版
横田博士監修物權法解題下(八)	第八版
横田博士監修新訂債權法總論解題	第七版
横田博士監修債權法各論解題	第七版
副島博士監修行政法總論解題	第九版
副島博士監修行政法各論解題	第七版
山岡博士監修刑法總論解題	第六版
山岡博士監修刑法各論解題	第九版
板倉博士監修刑事訴訟法解題	第五版
小林博士監修經濟學解題	第十版
水口博士監修商法總則商行爲解題	第七版
水口博士監修手形法解題	第四版
小林博士監修財政學解題	第五版
遠藤博士監修新訂平時國際公法解題	第八版
遠藤博士監修戰時國際公法解題	第四版
會社法解題	初版

法律・經濟
社會・政治
商業その他
大阪市北區梅田新道
株式會社 大同書院
電話北 一六五三・五七五三

義に於て思想財產の獲得の用意を調へて行くことゝする。

二

思想財產は第一に其移入に於て精選さるゝ必要があり、それは一面に於て思想そのものゝ價値が要求さるゝと共に、他面思想自體の表出其者の價値である。我々は思想財產の暗示するところに從つて、或は主觀客觀、無對立の狀態に於て座り乍らにして無限の王國を心裡に實現し、或は主觀、客觀、對立、內容、形式、無對立の狀態に於て一躍、無限の王國に突入せんとし、更に或は主觀、客觀、對立內容、形式、無對立の狀態に於て無限の王國に到達する爲の建築を爲さうとするのである。吾々の思想は一面に於て無限の王國に達する爲めの大建築物の一過程であると共に、之が表出されて思想財產を形成するときは、他面に於て右の如き結果を他の人々に與ふべく約束してゐる。無論吾人は斯く考ふるとき、或はバベルの塔の再建を夢想すると難ぜられるかも知れぬ。けれども吾々は如何に無限の力に對して敬虔且つ謙虛の念を持しても、又如何に宇宙の偉大なる慈愛が人類に附與せる能力を、其の與へられたる目的にのみ用ふることを學び得ても思想財產の吾々の理想實現に對する意味を低く見るのは、理想其者を低くすると同じく不可なりとする。吾々は假令住家は何うでも可いと爲して、掘立小屋を建築し、或は供給し、其の多きを誇り得るも、思想財產の建築を無視し、隨時に之を移入し、形式し、徒に其の多きを誇るは避くべきであると思ふ

三

人類の集團を前提として見るとき將を一團の人類に就きて謂ふも、思想は、前述せるが如く、高く天上の祕密を探らんが爲めに、企圖された建築の過程にも比すべく、學問的思想に到つては殊にその甚だしきを見るのである。個人一生乃至は人類永遠の思想をして、この大建築物の任務を遂げしむる爲めには、その材料たる個々の思想の意味をして、一々精良にして且つ光彩あるものたらしめねばならぬと共にその技能たる個々の思想の表出をして、確實且精巧ならしめねばならぬ。思想なる大建築は斯くして成り、思想財產なる大建築物は斯くして構成されるのである。思想及思想財產をしてその偉大なる任務を遂行せしむるがためには、表出の價値も亦輕視されてはならない。

勿論これ等の思想財產は如何なる場合においても瑕疵があつてはならない、是れ思想財產が人類の理想實現に對する意義よりして、正に然らざるべからざると共に、これ思想財產獲得に課せられた第二の使命であり、此の點よりすれば思想財產の移入はそれに瑕疵を包藏するとき其是正が緊急の要事とならねばならぬ。

次ぎに思想財產の移入に於ては、其輪郭を爲す表現の特出が保持されねばならぬ。何故ならば或思想財產が、若干の表出に價値ありとして移入さるるならば表出の特質を保持する所以は、其の價値を發

一月二月に亘りて開催せられた學友會委員會は豫算編成の他、近年學友會の本質等論議せられてゐる折柄學友會の大衆化の爲とでも云ふか、學友會のより堅實なる發展を期する爲にも今年度の豫定事業として擧げられてゐるものは大體次の三つである

先づ第一に京阪千里山線の乘車賃の値下である、千里山線が他會社の何れよりも高いことは人のよく知れるところにして最近神戶大阪吹田間の電化により京阪の對策として値下も考慮中の樣に聞ける折この運動は一般學生大衆の支持を得、加ふるに實行委員も決定して今年は委員諸兄の熱意の程も窺はれ、一般から期待されてゐる何れ新學期早々委員會を待つて運動に取りかかることであらう第二は學內食堂の改革であるこれは多年の懸案で、前途有爲の學生生徒の健康に關することであるだけに品質の向上と共に値下等が計畫され之又既に實行委員の決定もなされてゐるから電車値下運動と共に全學生の支持を得て開始されるだらう第三は昨年度より初めて行はれた學友會主催懸賞論文募集である、この程の試みは本學で初めての試みであつたゞけに豫期以上の效果を收め學內の研究的良心の換起を促して文化的方面に一の新生面を開拓したかの觀があつた。今年も夏季休暇を利用してこの催しが行はれる、何れ委員會に計り募集要項の決定を見て發表されることと思ふ。尚この他學友會名簿作成大學祭等は敢て今更らしく記載するにも及ばぬであらう

法文學部法律科今春卒業の
江里口春志氏に
喜びの春來り
醫學博士を授與さる

この三月法文學部法律學科を經へたばかりの法律學會々員である大正十二年熊本醫大出身にして新法學士の阪急東牟丁に江里口醫院を經營せる江里口春志氏は嚢に昨年六月阪大醫學部に「黴毒患者血淸の理化學的研究」其他十編を提出、學位を請求中であつたが、いよいよ教授會をパス、今回學位を授與せられた

これで我が國では、法學士にして醫學博士は東大醫學部講師、山崎佐氏、同志社大學教授士井二氏と今回の江里口氏のたつた三人である。氏を訪へば

「昭和二年貴衆兩院を通過した性病豫防法は實質的には空文に過ぎず遺憾に思つてゐる。これからは私は、かねてからの念願である我が國は勿論世界でも、未だ行はれてゐない微夜診療を、一般患者の爲に率先して開設して醫學界に貢

れ!!新聞部に!!

研究種目

新聞の發刊×チャナリズム研究×廣告の研究×新聞の批判及び利用

×　×

入部希望者は至急新聞部まで

新聞部

新卒業生に榮光あれ
三月二十日　卒業式擧行

約二十年に及ばんとする永い學窓生活を終へ最高學府を出でゆかんとする法文學部一六七名、經濟學部六九名の新學士に對する卒業證書授與式並びに豫科修了者一二九名に對する修了式は三月二十日午後二時より千里山恩賜威德館に於て擧行せられた。當日式典は左の順序によつて行はれたのである。

一、學部各科並びに豫科終了者成績優良者に對する賞品授與
二、學長式辭
三、文部大臣祝辭
四、大阪府知事祝辭
五、大阪市長祝辭
六、校友學士總代祝辭
七、卒業生總代答辭
八、學歌合唱

第九回
社會學大會
東北帝大にて開催の豫定
本學より岩崎教授出席さる

昨年は大阪に於て即ち本學及商大に於て開催せられ多大の收獲を得たる社會學大會は第九回を來る五月五、六、七の三日間仙臺東北帝大に於て開催せられる事になつた三日間を通じて研究發表、講演、市內社會學施設見學がなされ、其他には昨年來の懸案である高等專門學校、師範學校に於ける學科目として社會學講座設置については文部省諮問案を中心に愼重な協議が行はれる事になつてゐる

尙研究發表には[illegible]五十名からの屆出があり、尙本學岩崎教授の屆出もあるが、教授は「滿洲法制の社會學的考察」と題する新興滿洲國構成を取扱はれたるものにして斯界から多大の興味と期待をかけられてゐる。

れ常識上の觀念たると同時に法律上の說明を爲すを妨げず。

此の一節は法學博士水野錬太郎氏の法學協會雜誌（第三二卷第九號）に書かれた道路制度なる論文の中から書き拔いて見たのだが、此の說は通俗行政法を講ずる學者のみながみなまで此の觀念である例へば、佐上信一（道路法立槪要七頁）田中好（土木行政一―六頁）武井群嗣（道路及道路交通四頁）丹波七郎（道路法―法學全集三〇〇―三〇四頁）の如き實務家はもとより、織田博士（行政法講義各論二七七頁）美濃部博士（行政法撮要下卷一六四―一六六頁）京大渡邊教授（行政法講義各論一八五頁）の如く古き學者も新らしき學者の考も更に一步も出て居ない吾人何をか言はんやだ。道路を一

[illegible]にはある。僕の直感論からすれば、道路を單に交通機關として觀察することは當らないと思ふ。この[illegible]とは僕が幾度か主張して來たことだ（註）。氏の論の內容の說明を實務家中の法學者、法學者中の實務家である菊地愼三に語らしやう。道路は單なる人畜物資の交通運輸の機關たるに止まらない。上下水道を容れ瓦斯管を容れ電線を通し、水路たり瓦斯路たり電線路たるに止まらない。人口稠密なる密集住宅地域においては、光線空氣の流通路として、市民健康の源泉となる商業街路倉庫地帶においては或は商品取引授受の場所として縱の交通より橫の交通の重要なる作用を爲す道路は住宅の延長となり、道路は市民のサロンなりなどと謂ふものがあるが、一層適切に道路は店舖

…學校の…吉…が…な

政三七二頁）の延長である（計市計畫と道路行に讀者はどれだけ刺激を感ずるか。例へば地上文明の行詰りの對策として地下への進出の如きがそれなのだ。即ち道路を單に交通機關なりとしてみることは既に時勢の遲れである。彼、菊地の一郎が言ひ盡してゐる――否或は言ひ足らぬ――程道路の機能は多種多樣である。彼のベルリンの步道が地下構造物の關係から特に廣く造られてゐるのが雄辯に之を證明するのみならず（土木學會雜誌一六卷第六號）今や日本の都市計畫に依つて作られて行く街路の遊步道式公園道路や廣路に於ける綠地帶の觀念を通俗行政法學者達はどうして說明して行くのだらう。讀者よ紅茶を啜りながら、議論の花を咲かして見て吳れ給へ

加

…部より屢々その…議されて居つたが本人の寫眞を加へ此れは他校に於…するが、その目…されたり…るこ

專門部からの
賑々しい學部入り
今年度入學狀態

今年度學部入學者の出身校を見ると豫科修了者を除く他からの入學者を見ると何と云つても關大專門部の出身者が斷然多數を極め本學豫科出身者と殆んど同數である事は考へさせられる一つの現象である、その他廣島高師から三人の法律志望あり、變り種は高二から商科及び法律科入りが一人あり、水產專門部から法律科入りも面白い嬉しい事は佛專其他から昨年問題だつた文科哲學科入りの七人と英文科入りの五人である。

	法	政	哲	英	經	商	計
關大專門部	83	19	4	4	18	14	142
廣島高師	3	0	0	0	0	0	3
公立高校	6	1	1	0	1	2	11
公立高商	0	1	0	0	0	4	5
京都佛專	0	0	2	0	0	0	2
官公立大	0	0	0	0	0	1	1
私　大	0	0	0	1	0	0	1
私立專	0	0	0	0	4	1	5
高　工	1	0	0	0	0	1	2
計	92	21	7	5	23	22	170

千里

櫻過ぎにし千里丘既に靑葉を加へ、新たなる白線更に冴ゆ、諸制度の完備は學園の躍進を齎らし、學徒の責茲に大を加ふ◇躍進は向上を意味し發展は充實を意味する◇一面量的發展があれば、他面質的發展がなくばなるまい◇大學の量的發展には人員增加を前提とし◇質的發展は學生の質的充實に存す◇世の進展流水に譬へられ、大學卒業の肩書あるが故に就職の門戶は閉ざさるゝ◇學問を頭に貯へた虎の子なりといみじくも考へる、世の親子あれ◇頭から足に踏みつける學問であるのなら殘俗の浮世に出て恥づることもなくて濟む◇常識の不足を採用者に歎ぜしむる要もあるまい◇經濟的優劣の世相を比較する前に己を靜視する要あるべく◇この自覺なき限り就職難は斷じて解決し得まい◇出來ぬものを出來るものとして求むる所、これ木に登つて魚を得んとするもの◇職業紹介所と微かに異なること乃而如件◇顧みれば德育の缺けた大學敎育のみの缺陷ならずとするも◇尚其一として過ぎたるは及ばざるに等しく◇茶碗の底なきの觀なきにしもあらず◇ギールケの名言「人の人たる所以は、人と人との結合にあり」◇この後半を「德育」に改め大學改造論がこんな所を浮動してゐる。某文明國の現段階は先進國の匿名に恐悅するあはれをとゞむべく◇茲に大學の悲哀がある◇靑葉にも櫻の自稱自證かな

藤澤黃坡

詠梅

淸癯風骨玉爲魂。脉々暗香春滿軒。最愛仙標奇絕處。江南半夜月明村。

豫科學級主任決定

今年度本學豫科學級主任は例年の如く各クラス毎に受持たず左の形式によつて發表された。

第一豫科第一學年河村（信）敎授
第二學年　小泉　敎授
第三學年　田邊　敎授
　　　　　飯田　敎授
第二豫科第一學年中村（鄧）敎授
　　　　　三技樹　敎授
第二學年　藤澤　敎授
　　　　　堀　敎授

國際法理論の現段階
―田中教授の純粹法學批判を讀みて―
（其の一）

越智　弘

はしがき

去月及今月に渉る國際法學壇は多幸なる收獲の時であり吾が學界は今や其賑々たる覇氣に充滿してゐる、一方ケルゼニストに對するアンテイ・ケルゼニストの對立は、とまれ純粹國際法論に課せられた運命的課題であり、其試金石でさへある。嚢に「法律哲學槪論」を發表されて其思想史的研究を遂げられ、其獨特の方法論的基礎を法律哲學の分野に提供された田中教授は「ケルゼンの純粹法學の法律哲學的意義及價値」（筧敎授還曆祝賀論文集、第七四五頁以下）に於てアンイ・ケルゼニストとして、カトリック的自然法主義者として鋭き批判を投じて居られる。私は此問題を繞る理論的研究として吾が學界の昨今を一應論評して見ることとした

一、田中教授の純粹法學批判
二、ヴァルツに於ける批判的研究（特に其近著「國際法と國內法」に就て）
三、國際法理論の現段階

一

法律理論の領域において見るに新しき法律學は法律を統一的全體として理解せんとし、客觀主義的普遍主義的花形を多分に帶びてゐる。是は十九世紀の個人主義的國家絕對主義が個々別の法域の研究に終始し、何等客觀的なる法律の理想を求めんとせず、全體としての法律秩序の體系に盲目なりしことの反動と觀ることが出來る。從つて新しき法律理論は其統一的繰作を法律哲學に期待し、此處に法律哲學の勃興となり、（コーラー、ビンダー、ベロッツハイマー）法の安中根據、客觀的正義に關する理論の範圍においては自然法の復興となつたのである（カートライン・シャルモン）吾々は此の自然法の復興、普遍主義的法律理論の勃興に關連して自然法學徒の理論的成果の持つ第一の現代的意義を招き得ることが出來るであらう。此意義に於てこそ、不正確な表現はあるが「自然法の父」と言はれ「法律學のデカルト」とも喚ばれ伊太利の哲人ヴイコに依つては、「全人類の法律學者」とも喚賞された自然法學徒グロチウスの法律思想は、自然法の復活と共に再び檢討さるべき運命を擔ふもので、彼がルネサンス及び宗教改革の影響が愈々鮮明ならんとする十七世紀に遭遇し「道德的世界の自然的體系の建設者の一人として、法を一の全體として解釋し、統一的なる「普遍的法律學」（テイルタイ）の體系を完成したことは、その平和思想への實踐的影響と共に沒すべからざる功績と言はねばならぬ

更に顧つて、國際法理論の歷史に徵して見るに、此處に於ても個人主義と普遍主義とが興亡、起伏してゐる（フエアドロス）（註）第十九世紀の國際法理論の中樞を爲してゐる「國家自己制限說」が前者に屬せるは玆に言ふ迄もないが、かかる立場の破綻について、新しき國際法理論の建設が如何なる方向に進むべきかは輕々しく論定し得ないが、一の普遍主義やがては客觀的なる自然法に歸するであらうと云ふ觀點が一般に有力であり現在其過程は辿られつゝある（例はフエアドロス……殊に根本規範の問題に就きて著しい）共同社會國家及び法（三五五頁）何となれば國家意思の自己制限が如何にして繼續され得るかとする問題に對して、吾々は國家意思より獨立せる原理を豫想せざるを得ざると共に否それを超克せる普遍的命令又はかゝるものとしては結局自然法の採用が存するのである。自然法の原則は單なる思惟範疇 Denkkategorie でなく生の槪念 Lebensbegriffe である、否それは信仰でさへある如斯意味に於て、即ち國際法理論に於ける新しき基礎付けの要求が起りつゝある現代の趨勢に徵して自然法論が持つ第二の現代的意義が認めらるゝものとせらるゝ（プルメリンク）と共に、純粹法學の出現に遭遇し、法律哲學の任務として法の論理學及び法の認識論を認めつゝも尙は法形而上學を以て法律哲學の極點たらしめ、アリストテレス－スコラ的自然法の論理的立場よりして之を檢證さる、田中敎授に於ては法律學研究に於ける社會學的、經濟的方法と法律學的方法の併用を强調され、敎授の Stellungnahme の告白として展開された其批判は美濃部博士の社會心理的方法と牧野敎授に於ける自由法主義に基くそれに對してより理論的である

（註）フエアドロスは「國際法の社會學的基礎付け」…公法アルヒーフ、十八卷、二號、第四一二頁以下、に於ては次の四分派が擧げられてゐる

一、古代ギリシヤ、羅馬及支那における國家絕對主義
二、基督敎主義に濫觴する人類普遍主義の時代、（シユアレーズ、グロチユウース、ズウーチ、ヴオルフ
三、第十九世紀の自己制限理論（ベルグボオーム、イエリネック、シゴーン、ネルソン）
四、新しき普遍主義的傾向の萠芽デユギー、クラッペに依り其端初をつけらる

嘗てマックス・アドラーは「デイオニソドロスとクテシッポスの對話」の一節を以て其題詞としたが、この對話は其儘に「眞の科學」としての法律學を標榜する純粹法學徒に依つて素朴的ケルゼン批判に與ふる題詞としたが、田中敎授に於ては形而上學の復興殊に自然法の再生とビンダー・ラレンツ一派のヘーゲル復興の齎らせる法律哲學及びソビエート、更にナチス的法律哲學の擡頭（之の點、中央公論今月號に於ける敎授の論文參照）は新カント主義法律哲學更に法實證主義の無力の有力なる證左であると主張せらるゝ一方、ナチス的法律哲學の思想史的背景の鏖無を鋭く指摘して居られる

勿論法律學の幾何學を[illegible]し、法實證主義に其哲學的基礎を探求する純粹法律論がケルゼンの主張する所を以てし、倫理的視角に於て法律的積極主義の誤謬があると斷定し得るとするも、反面敎授の法律的消極主義を以て純粹法學に妥當せしむる論據は又、純粹法學の本質に缺せる理論として到底その非難を免れ得なく、田中敎授の一應その立場として提出された「新カント派法律哲學批判」（一九二一年）を辿りる迄もなく、純粹法學の徒に於て運命的テーゼとして探究せられてゐる（Moore）所にして、近くは根本規範の問題を通し、フエアドロスとヴアルツの理論的反駁を招來したのである

然るに敎授はケルゼンが形而上學的二元論を排斥し、科學的批判的世界觀を以て代置し、法の段階的構成の上に科學的（法的）世界像の建設を企圖した之に一步を進め自體を認識することの企圖を擲棄し、實定法の理論たるに止まる法實證主義を摘出し、それは「法もの」とせられ、ケルゼンの純粹法學の中樞槪念と認むべき國家と法の牽聯關係を無視され（八一一頁）實定的法律秩序の妥當性を導出する權威たる根本規範を假設せざるを得ざりしケルゼンに於ては共論理的構成の自然法への妥協であり「法實證主義の破綻を明示する」（七八七頁）ものとせらるゝ

純粹法學への批難、否其內面的論爭は根本規範の問題を繞り、敎授の指摘さるゝ（七八七頁）フエアドロスがP・S・S原則の外に「法の一般原則」の必要を强調し、無意識的にもヴアルツの批判に順應せる一點のみ[illegible]、何はクンツに於て[illegible]義に於ける國家[illegible]說として[illegible]（註一）[illegible]

除卻しつゝ、何彼の法律理論が論理的自然法に墮し、更に體系中における目的論理的統一性の問題の考察を要求されるのである。（七九〇、七九一頁）將して敎授の所謂根本規範に因る授權が思惟的活動の所產であり、人間の意欲行爲に基く規範設定行爲と區別するを要し、自然法及實定法の區別を法實現形態に求むるケルゼンの主張が「何等法律學的意味を有しない」であらうが（七九四頁）敎授がいみじくも Omnis Societas ibi ius を引用されつゝも、之の原則は法的强制秩序を其一隅にしか包括せざる點を看過せられオースチンの「主權者命令說」に比較するにケルゼンを以てするに至つては敎授自身が純粹法學の國際法的展開を理解されてゐない告白さるのみか延ては國際法の法的本質を否定されたる者と言はざるを得ないであらう

私は平和秩序の維持として實定法を揚立する、自然法の認識論的基礎を認容しつゝも、ケルゼンが純粹法學に挿入の故に、自然法に純粹的なるもの、從つて純粹化を齎らし、之を架空的なる法律理論に墮せしめたるものと（七九九頁）せられる敎授の立論に疑問を抱かざるを得ない

斯くして敎授は其論步をケルゼンの法律哲學的相對主義に向けられる、純粹法學が實定法の科學であることよりして敎授は、ケルゼンに於ける純粹法學を以て法律哲學を否定すると說かれる、從つて敎授に於ては法律哲學は一の世界觀のみが正當なる[illegible]學的に立證し得る立場に於てのみ可能でありケルゼンに於ては「實定法の科學以外に於ても法律哲學は否定せられなければならない」とする論旨（八二六頁）が當然の歸結として要求されるのである。敎授がケルゼンの法理論其者を正當に理解され（八二七頁）つゝも、曩にクンツに依つて指摘され、國際法理論に迄導入された、哲學的國際法論（註二）を無視された敎授は純粹法學批判に當てられた此論文として、少くとも一步出でて論旨を擴大される必要はなかつたであらうか

（註一）クンツ　國家承認論、一九二八年四頁
（註二）クンツ　國際法學と純粹法論、一九二三年、國際法の理論的基礎、一九二五年

私はケルゼン及其一派の純粹法學が必ずしも總て正當なりと思料し得ないが、敎授が法の社會的技術化視された、新カント派の孤立化的方法として揚棄さるゝ非難と彼の論理主義が相對主義よりの逃避の隱家と謂はるゝ屆壁の中に、形而上學的宗敎的二元論より抽出せる悲觀的二元論による自然法批判の形而上學的基礎よりして敎授の立場に一抹の疑問を抱かざるを得ざると共に、寧ろ之に建設的二元論の價値をかすか乍らも認めざるを得ない。新カント主義法律哲學に對する、フリッツ・カウフマンに出でラードブルーフに歸られた敎授の純粹法學批判は吾が國のネオ・ケルゼニストに對して、より理論的であり、建設的である。それにも不拘私は敎授に對する非難をも顧みなかつた（つゞく）

關西大學教授・商學博士　武田鼎一著

經濟價値研究

菊判一六〇頁
定價一圓三十錢
郵送料十六錢

經濟價値の精神科學的並に實證的研究―

本書は今般商學博士の學位を得られたる武田鼎一教授の該博なる蘊蓄を傾けて、專ら經濟價値理論を獨自の立場より精神科學的並に實證的に解明せられたる雄篇にして博士の創說にかゝる平均價値學說の優位性を高揚すると共に、その對蹠的立場をとる限界效用學說を完膚なきまでに鋭き批判を下してゐる。蓋し價値論最高の指標を示すものである。尚卷末には獨逸學界に發表される「獨文平均價値論」を收錄す。

近刊

關西大學講師　森川太郎著　金融經濟總論　菊版上製五〇〇頁
關西大學講師　龍野健次郎譯　倫理學史要　菊版上製二五〇頁
浪華高商教授　豐田與市郎著　經濟地理學提要　菊版上製二五〇頁
大阪外語教授　上田畊甫著　和文英譯と英作文　三五版上製三五〇頁
大阪商大教授經濟學博士　田崎仁義著　一般經濟史第一卷　菊版上製四〇〇頁

發行所
本店　關西大學天六學舍前　電話堀川三四九番　振替大阪六二一五〇番
支店　大阪住吉區大阪商科大學前
出張所　關西大學千里山學舍前
甲文堂書店

國家試驗

第六卷　第七號　【四月一日號】　定價金六十錢　送料金二錢

◇公海、領海及領空…………法學博士　松原一雄
◇受驗者の受驗準備態度を說く―特に貴族院令に於て―…………行政裁判所長　法學博士　淸水澄
◇我國經濟の資本主義化の程度に就て…………明治大學教授　最上孝敬
◇九年度豫算の經濟的意義…………飯田正夫
◇米國產業復興法論…………商工事務官　始關伊平
◇貿易統計に現れたる我國產業の發展―最近十年間に於ける其の變化―…………大藏事務官　竹內德治
◇經濟的國家主義と統制經濟…………商工省工務局工政課　法學士　鈴木義雄
◇弗の平價切下を中心として…………法學士　德永久次
◇高等試驗を受ける迄―昭和八年度高文合格記―…………東大　高文夫
◇行政科口述問答記…………西澤權一郎
◇外交科口述記錄…………假面生
◇苦盃より祝盃へ…………敬愛生

◇昭和八年度各科問題答案―受驗指針―…………鳥津彌學
―模範答案―（本誌四月一日號附錄）
◇帝國議會の開會、閉會及休會とは何ぞ…………高文合格者　村上久治
◇命令を以て刑罰を規定することを得るや…………同
◇先占の法理を論ず…………同
◇胎兒は相續人となり得るや…………同
―法律落語―
◇櫻立木に花見…………[illegible]
―時事解說―
◇恩給の沿革と改正
◇手形法及小切手法の實施
◇高文改正案問題
◇選擧法改正問題
◇中大民訴研究會の問題
◇神戶商大懸賞論文
◇京大特別論文試驗問題
―試驗時報―
◇東北帝國大學生の生活
―[illegible]の天地―
◇質疑應答
◇法律顧問

東京市本鄕區森川町七一、帝大正門前
育成洞
電話小石川(85)七八一番
振替東京一七三三八番

小學中學高女
補敎及受驗科
共勵塾
塾長　木村吉光
大阪市東成區南生野町一丁目八

露語科警察官受驗科映畫術文藝研究科特設
東洋哲學塾
塾長　澤田康史
大阪市住吉區杭全町三五番邸

關西大學指定
野島書店
關西書院出版部
大阪市東淀川區長柄中通三丁目一二
但シ關西大學天六學舍前
電話堀川一八九五番

其輪廓を爲す表現の特出が保持されねばならぬ。何故ならば或思想財産が、若干の表出に價値ありとして移入さるるならば表出の特質を保持する所以は、其の價値を發

普遍主義的花彩を多分に帶びてゐる。是は十九世紀の個人主義的國家絶對主義が個々別の法域の研究に終始し、何等客觀的なる法律の理想を求めんとせず、全體として

ン・シャルモン）吾々は此の自然法の復興、普遍主義的法律理論の勃興に關連して自然法學徒の理論的成果の持つ第一の現代的意義を認むることが出來るであらう。此

き國際法理論の建設が如何なる方向に進むべきかは輕々しく論定し得ないが、一の普遍主義やがては客觀的なる自然法に歸するであらうと云ふ觀測が一般に有力であり

（註）フエアドロスは「國際法の社會學的基礎付け」（公法アルヒーフ、十八卷、三號、第四一三頁以下…において次の四の類が遂げられてゐる

於て法律的[illegible]と斷定し得ずとするも、[illegible]教授の法律的[illegible]を以て純粹法學に安着せしむる論議は又、純粹法學の末節に墜ぜる理論として[illegible]

[illegible]說とし[illegible]彼の[illegible]より

あることより[illegible]して教授[illegible]ンに於ける純粹法學を[illegible]て法律[illegible]學を否定すると說かれる、從つて教授に於ては法律哲學は一の世界觀のみが正當なるを[illegible]

[illegible]教授の純粹法學批判は吾が國のネオ・ケルゼニストに對して、よ[illegible]であり、建設的である。それにも不拘私は教授に對する非難をも顧みなかつた（つゞく）

スポーツ

極東オリンピックを目指し 競技部の活躍

長尾（槍投）谷口（二百米）頑張る

全日本 陸上豫選（第一日）

十四日明治神宮競技場で舉行された全日本陸上競技大會第一日は前日の雨で多少軟かく氣溫低きためコンデイシヨンわるくかつ今シーズン最初の競技會のためか調子整はざるもの多かつたが我選手よく母校の名譽を背つて活躍目覺しかつた。

走幅跳決勝 1（7米16）田島直人（京大）2（7米12）南部（浪速倶）3（7米11）原田（京大）4（6米79）福田（關大）

田島7米14、原田7米11、南部7米80、福田、湊川ともに6米87でベストに入つたが第四回目に田島7米16とあげて優勝を確實にし、南部は元氣なかつたが第六回目に7米12を出してわづかに原田を破り二位となる、福田は四回目に6米90を出し湊川を落して全部近畿が得點するところとなつた。

槍投決勝 1（62米14）長尾三郎（關大）2（57米85）鈴木（日大）3（55米6）赤羽（日大）4（54米30）柏分（臺北帝大）

百米豫選 【B】（1）佐々木（文OB）10秒9（2）谷口（關大）10秒9（3）竹中（文）

二百米豫選 【C】（1）谷口（關大）23秒5（2）竹中（文）（3）岩瀬 愛宕

走幅跳決勝 （1）田島直人（京大）7米16（2）南部（早OB）7米12（3）原田（京大）7米11（4）福田（關大）

八百米豫選 【D】（1）小西（關大）2分1秒2（2）富江（明OB）2分2秒8（3）栗本（中央）

二百米準決勝 【C】（1）谷口（關大）22秒（2）笠井（文大）22秒6

此所に於て十四、五兩日に於ける豫選會の成績により我關西大學より極東オリンピック選手として、長尾、谷口の二選手が選ばれた、又前主將大島鎌吉氏はアッシスタントコーチとして活躍せられることになつた。

代表選手（短距離）谷口睦生、（投擲）長尾三郎。

代表選手として 長尾・谷口決る

大島氏はアッシスタントコーチ

十五日極東オリンピック參加問題が急轉直下解決され前日までのためらひ氣味の空氣は一夜にして出場選手はとみに緊張した。此の日氣溫も暖かくなつてコンデシヨン良好であつた。

—百米決勝—

1（10秒7＝極東タイ記錄）吉岡隆德（大塚ア倶）2（11秒1）阿武（中大）3（11秒1）佐々木（文理出）4（11秒1）谷口（關大）

—二百米決勝—

1（22秒1）吉岡隆德（大塚ア倶）2（22秒3）谷口（關大）3（22秒5）阿武（中央）4（22秒7）鈴木（慶應）

走路は曲走路でコースは內側から阿武、吉岡、鈴木、笠井、佐々木谷口の順、吉岡は前半を猛烈に頑張り、百米あたりでは約四、五米をリードしインの阿武、アウトの谷口僅かに出て、中の三人は遲れるゴール前で谷口よく出て阿武を離して吉岡との差をつめ、鈴木も出で阿武に迫り、佐々木は五着で落選した。

—三段跳決勝—

1（14米86）原田正夫（京大）2（14米63）立中（住友）3（14米40）宮川（中大）4（13米93）戸上（關大）

大島、田島の出場なく二回目までは僅かに原田が14米30を越したのみ、他は振はず三回目となつて立中14米63、原田14米47、宮川14米40、戸上13米93の記錄を出し出場、福田は13米91でベストに落ちる、この後は原田が六回目に14米86を出したのみであつた。

—走高跳決勝—

1（1米91）安達清（早大）2（1米85）矢田（早大）3（1米85）富谷（關大）4（1米85）山下（文理大）

各選手堅强の結果振はず、期待されてゐる朝隈が一米八五で落ちるの番狂はせを見せ、わづかに昨年の選手權保持者たる安達一人が1米88を越え、さらに1米91を二回目に見せたのみ、二位以下は順位決定試技によつて決した。當大會に於て八百米藤枝選手が病氣のため不出場になつたことは、同君の活躍が期待されて居つた折から甚だ遺憾である。

長尾槍投に 日本新記錄

一般對關西 學生陸上

今シーズンにおける關西陸上競技界の實力を評價すべき第一回近畿一般對關西學生對抗陸上競技大會が廿二日甲子園に於て行はれた。此の日關大競技部は各種目に於て活躍し特に長尾が日本新記錄を作つたことは特筆すべきであらう。

【百米】（1）谷口睦生（關大）10秒9（2）南部（一般）10秒9（3）田島（學生）

【走高跳】（1）木村一夫（一般）1米[illegible]4（近畿新記錄）（2）富谷（關大）1米85（3）荒木（一般）小谷（一般）

【千五百米】（1）高木正平（學生）4分14秒4（2）木下（學生）4分17秒6（3）小西（關大）

【高障碍】（1）柳井深造（學生）15秒6（2）原田（學生）15秒8（3）福田（關大）

【四百米繼走】（1）學生チーム（田島、原田、市原、谷口）44秒（2）一般チーム（織田、藤原、菱田、內海）45秒9

【二百米】（1）谷口睦生（關大）21秒7（2）內海（一般）23秒2（3）青木（學生）

【槍投】（1）長尾三郎（關大）68米59 日本新記錄（2）木村（學生）59米26（3）城戸（關大）58米62

【八百米】（1）小西秀夫（關大）2分4秒6（2）木下（學生）2分5秒（3）高田（一般）

關大豫科大勝す

對同志社大豫科陸上

第四回關西大學豫科對同志社大學豫科の對抗陸上競技會は二十二日午後零時半から大阪市立運動場で舉行42點二分一—25點二分一で關大豫科勝つ、一等記錄次の如し

百米（11秒4）川手（關）▲走幅跳（6米52）戸上（關）▲圓盤投（31米16）戸上（關）▲高障碍（18秒6）川手（關）▲走高跳（1米75）加藤（同）▲四百米（54秒9）和田（同）▲砲丸投（10米76）戸上（關）▲千五百米（4分53秒5）渡橋（關）▲棒高跳（2米75）戸上、木本（關）▲槍投（44米88）八木（同）▲四百米繼走（47秒5）關大豫科（戸上、福田、有馬、川手）

覇者の貫祿 關大の王座搖がず

既に神・同・立三大學を破る

極東大會 野球關西豫選

關大6神商大0

極東オリンピック選手權野球大會關西六大學聯盟豫選第一日は六日正午藤井寺球場で舉行第一試合神商大對關大戰は關大先攻に開始、審判島津（球）石井、池田（壘）の三氏6—0で關大勝つ

關大 0 3 0 0 1 0 0 1 1—6
神商大 0 0 0 0 0 0 0 0 0—0

關大15同大0

極東大會野球の關西六大學聯盟豫選第二日に七日午前藤井寺球場で舉行、同大對關大の試合は零時二十五分同大先攻に開始審判高田（球）大角、淺井（壘）15—0で關大勝つ【バッテリ】關大1田上2北浦岡本▲同大1石井、島谷、山本2伊藤

同大 0 0 0 0 0 0 0 0 0—0
關大 3 0 4 0 0 4 3 1—15

關大12立命2

極東大會關西六大學野球聯盟豫選第三日關大對立命大決勝戰は八日午後二時五分から藤井寺で關大先攻に開始、關大大勝し關西の代表となる（審判平井、鷹野、武田）

關大 3 0 0 1 0 0 2 0 3 3—12
立命 0 0 0 0 0 1 1 0 0 0—2

關西野球リーグ スケジュール發表

五月一日 入場式舉行

春季關西六大學野球リーグ戰は五月一日より甲子園に於て入場式から始まるが關大の制覇は勿論確定的で唯興味視せられることは他五大學が如何に關大に喰ひ下るかが問題である。因にスケジュールは左の如くである。

五月一日　入場式　午前十一時半
○關大—商大　○時半　於甲子園
立大—關學　三時
五月二日
第二回戰
五月五日
○京大—商大　○時半　同
○關大—同大　三時
五月六日
第二回戰　同
五月十二日
○關大—關學　○時半　同
立大—商大　三時
五月十三日
第二回戰　同
五月十九日
○京大—立大　○時半　京都
關學—同大　三時
五月二十日
第二回戰　同
五月二十六日
○關學—商大　○時半　甲子園
立大　三時
五月二十七日
第二回戰　同
五月二十六日
京大—同大　○時半　京都
六月[illegible]日
京[illegible]
六月[illegible]日
第二回戰　同
六月六日
○商大—同大　○時半　甲子園
○關大—京大　三時
六月七日
第二回戰　同

慶應に敗れ 東京クに快勝す

西村、田上の好投

關大6東京ク3

極東大會の紛糾から野球準備委員會は上京中であつた關大チームを交へて協議の結果十四日極東豫選會舉行の意義消滅し東京クラグを極東大會に推薦し、改めて關大チームを中心とする試合が舉行された。

東京倶樂部對關西大學の野球試合は十五日午後二時十分より神宮球場で舉行審判錢村（球）横澤、藤田（壘）三君、6—3で關大勝つ、終了四時十分

關 0 0 0 0 0 0 1 4 1‖6
東 0 0 0 1 0 2 0 0 0‖3

【經過】東クは關大の田上投手に打力を封ぜられ勝ちであつたが第四回苅田三匍失、桝三遊間安打に出で片田の一匍に送られたのち永井の左飛で苅田生還、第六回は本郷中堅に安打し苅田のバントにおくられ桝の左中間二壘打で還り、なほ片田の遊匍一壘高投で桝生還二點を先取し、優勢を示した▲關大は宮武投手の凡打主義の緩球に對しあまりに堅くなりすぎ、攻擊力に見るべきものなかつたが、第七回宮武の四球連發四回により一點を回復し、第八回菊谷からも二つの四球と佐藤、來島の安打に一點を加へ、こゝで救援にたつた高橋からも四球を選んで同點となり、さらに大橋の右翼線二壘打で二點をリードし大勢を決した。第九回も中村を攻め一點を加へた、關大田上が第七回一死滿壘の危機に陷つたとき救援せる西村（幸）が得意のカーヴで後半善鬪せるに反し東京は宮武が比較的好投せるのみで菊谷、高橋、中村など振はず辻をのこして投手團全滅の觀があつた。

東京	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四死	過失
（6）苅田	4	1	0	1	0	0	0	0
（8）桝	5	1	2	0	0	0	0	0
（9）片田	4	0	1	0	0	0	0	0
（3）永井	3	0	0	0	0	0	0	0
（7）松井	4	0	0	0	0	1	1	0
（1）宮武	3	0	1	0	0	0	0	0
（PH）中島	1	0	0	0	0	0	0	0
（5）角田	3	0	1	0	1	0	1	0
（2）手塚	2	0	0	0	0	0	1	0
（PH）鷲尾	1	0	1	0	0	0	0	0
（4）本郷	2	1	1	0	0	0	1	0
（4）關口	1	0	0	0	0	0	0	0
	33	3	7	1	1	1	4	1

關大	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四死	過失
（6）大橋	4	0	2	1	0	0	0	1
（8）西村正	5	0	0	0	0	0	0	0
（7）黑澤	5	0	0	0	0	0	0	0
（9）稻若	1	2	1	0	0	0	4	0
（4）橋本	1	0	0	1	0	0	0	0
（H）北井	1	0	0	0	0	1	0	0
（4）佐藤	2	1	2	0	0	0	0	0
（5）來島	3	0	3	0	0	0	2	1
（8）村上	2	2	0	0	0	0	3	0
（1）田上	2	0	0	0	0	0	1	0
（1）西村幸	1	1	0	0	0	0	1	0
（2）北浦	2	0	0	0	0	0	2	0
	25	6	8	2	0	1	13	2

二壘打—桝、大橋、併殺東（宮武、苅田、永井）關2（橋本、大橋、村上）（村上、大橋）與へし安打—宮武3（七回）菊谷2（一回）高橋1（一回）中村2（一回）田上5（七回）西村幸2（三回）時間—二時間五分

慶應6關大1

慶應對關大の野球試合は十八日午後三時から神宮球場で審判淺沼（球）横澤、森（壘）三君で、關大先攻

關大 0 0 0 0 0 0 1 0 0‖1
慶應 0 2 0 0 0 0 2 2 A‖6

慶應	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四死	過失
（7）本田	4	0	0	0	0	0	0	0
（9）土井	4	0	0	0	0	0	0	0
（8）平桝	0	0	0	0	0	0	0	0
（4）岡	3	0	0	0	0	1	1	0
（3）中村	2	1	0	0	0	1	2	0
（89）山下	4	2	1	0	1	1	0	0
（5）碣石	3	0	1	0	0	0	1	0
（6）勝川	4	1	1	0	0	1	0	2
（2）櫻井	4	1	3	0	1	0	0	0
（1）岸本	4	1	1	0	0	0	0	0
	32	6	7	0	2	4	4	2

關大	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四死	過失
（6）大橋	4	0	1	1	0	0	0	0
（8）西村正	2	1	0	0	0	0	1	0
（7）黑澤	3	0	0	1	0	0	1	0
（9）稻若	4	0	1	0	0	0	0	0
（5）來島	3	0	0	0	0	1	0	0
（4）橋本	3	0	1	0	0	0	0	1
（PH）北井	1	0	0	0	0	1	0	0
（3）村上	4	0	1	0	0	0	0	1
（1）田上	1	0	0	0	0	0	0	0
（1）西村幸	3	0	0	0	0	0	0	0
（2）北浦	3	0	1	0	0	0	0	0
	32	1	5	2	0	2	2	2

三壘打—勝川、二壘打—稻若、岸本、併殺—慶1（勝川、中村）逸球—北浦、與へし安打—田上3（二回）西村幸4（八回）

スケジュール決定

大阪學生五校 蹴球リーグ

【五月】二日外語對阪大（四時半、阪大）八日商大對高醫（四時半、阪大）九日關大對外語（未定）十三日阪大對高醫△外語對商大（一時、三時阪大）二十日外語對高醫△商大對關大（一時、三時商大）二十四日關大對阪大（未定）二十七日阪大對商大△關大對高醫（十一時、一時阪大）

關西學生籠球

春季試合決る

【第一回試合】神戸高商對大阪外語【第二回試合】同志社大學對（神戸高商、大外語勝者）△同志社高商對神戸商大△大阪高校對姫路高校△三高對大阪高醫△大阪帝大對大阪學專△關西大學對大阪商大△關西學院對京大△浪速高校對甲南高校

慶應—關大 對抗拳鬪試合

來月二日、朝日會館で

慶應大學と關西大學の第一回拳鬪對抗試合は五月二日午後七時から朝日會館で舉行されるが、これは關西における最初の東西大學對抗試合として注目されてゐる。

校內食堂
ワレラの食堂
本店 大洋軒
中央公會堂地下

吾等がスポーツを語る

山旅追想（一）

山岳部 須藤榮一

私は今春の山旅の記を書からと思つてゐる。山は危險だと云ふ。ほんとだ。成程積雪期の山登り位危險なものはあるまい。私が今山旅日記らしい物を書かんとするを躊躇させる事は尊い生命を危ふく失ひかけてまで山に登つたと云ふ事を自慢らしく述べんとする事が或は狂人沙汰の如く思はれはしないかと云ふ點なのだ。時に私が今書かんとする今度のルートの如き全く九死に一生を得たと云ふ奴である。九死まで經驗した山旅が最も愉快なもの死にかけた私の、否、山男達の心理は或は狂人沙汰かも知れない。我々山男は成程山を愛してゐる。そして山に登るのが好きだ。「何故君は、山に登るのか？」と問はれた時「唯好きだから」と答へる以外に私は言葉を持たない。「唯好きだから登るから」…さうだ。好きだから登るのだ。一國民として山よりももつともつと重大な生命に對する意義と價値を有するべき我々が何故に、斯くも危險を犯してまで山に行かんとするのか？山岳部の名聲發展のため——人の踏まない深い山へ溪へと入る事がその價値が大であるとされてゐる、現在の山岳界。そのためには、我々は、あらゆる防寒具食料の研究を怠らない。然れども如何に名聲の爲めとは云へ山以外に、生命に對する使命を有すべき我々が何故に此の危險な深山に分け入らんとするのか。生命の尊さも知つてゐる。そして我我とても死に度くはない。それなればこそ、色々な登山用具、食料そして雪崩や候等の研究をするのだ。山男なるが故に尚更山には死ねないのだ。兵士が戰地に生命を捨てるのとは、意義の異る事を意識すればこそ、我々は尚更山に死ねないのだ。山に於ける死と云ふものゝ斯くも恐れてゐる我々が、

命がけ

の山旅であればあるほど自分達にとつても愉快であり、又山岳としての價値大なりと稱するが如き矛盾の存するのは何故か？その生命に於ける矛盾を意識しながらも、益々深山深溪に入らんとする心理は何だ。命かけての淸き戀愛、それが、たとへ一瞬時のものでも——それこそ詩にある戀であるのだ。詩に詠はれる戀。それは社會がない。二人以外に人も居ない。我々が生命を失はんとする恐怖の境地に、一步一步と氷の岩壁を攀づる時、將又尾根吹く物凄い吹雪の中をピッケルに、賴る時、或は目的の峰に起ちて友と幸福の握手を交はす時等々……その我々には、社會もない親もない。慾望もない。唯我と山あるのみなのだすれば、たとへ、それが瞬間瞬間、のものであつても、山に對しての我々の心理は詩であり歌である筈だ。少くとも一命を賭してまで敢行せんとする冒險登行の動機とも云ふべき、斯くの如き山岳愛の本質なるものは、何であるか單なる興味とは見られない眞劍味を有する山への思慕は、或はラスキンの所謂「思索」であり、フレッシュフイールドの所謂「藝術」であるのだ。或ひは又山男達の悟れる宗敎であり哲學でもあり得るのだ。

× × × ×

私は今度の春山日記を書くと云ひながら前置きの爲めに莫大な字數を費してしまつた。けれども此の前置なる一片の文が私の山日記を書く心理が狂人沙汰ではない事を辯明するに幾分でも役立つたならば、意義のある事と思ふのである。

× × × ×

目的とコースとして定めたのは白馬頂上より旭岳、猫又、清水、逢坂山、黑部溪谷より、宇奈月へ下ると云ふのだ。地圖に書入れをしながら、此の樣に興味のありそうなルートが何故に今まで取られなかつたかと不審に思つた事から思ひ起ち、之を我々が踏破せんとしたのだ。地圖で見れば白馬まで登れば、あとは廣い尾根通しの案外樂そうなスキールートだと見にたのだ唯心配したのは、寒い最中の黑部溪谷の渡涉と崩に就てのみであつた。けれども、地圖の見誤りか、或は地圖の間違ひか、三日で行けると思つたコースを六日も要し、食料の缺乏と黑部の渡涉の困難が我々をして、九死に一生の思ひを體驗せしめたのだ。

地圖上

の判斷で輕く見てとつた我々の食料は實に貧弱なものであつた。吉田兄と私と護（ガイド）の三人パーテイーなのだが米三升ミルクパン五十袋、黑パン二個それに餅を十枚ばかり持つたのみ。燃料はアルコール二リットル足らずを持つたのみだつた。

× × × ×

三月三十一

猿倉の小屋、物凄い積雪のために、今にも倒れさうに傾いてゐる小屋の氣持の惡さは、私をして十分な睡眠を與へてはくれなかつた一月時分から少々心臟を惡くしてゐた、せいもあつたのだが。午前五時頃の冷氣は、寒い中にも氣持よくブナ林の梢の間から見れる、樺色の朝燒けは、今日の天候を保證するが如く、競ふが如く、スクスクと伸びたブナの幹のたち並ぶその線の美しさは、睡氣を去つてしまふに充分であつた。

馬尻から一莖の中に眺められる大雪溪の壯大さ。此の日の太陽の暖かさは、大雪溪をスキーで登つて行く、我々に汗を滲ませるのだつた。

四月一日　目が覺めた。眞暗だ。小屋が雪にうもれてしまつたのだ外は物凄い吹雪である。籠城（つゞく）

辯論部
新入生歡迎會　四月廿九日
阪神前集合　於廣田山
對法政大會　五月中旬
學內大會　六月中旬

◇寄◇贈◇書◇
◇モダンスポーツ　三、四、五月號◇岸壁　横濱專門學校雜誌部◇EDU　大阪外國語學校英語會◇社會學徒　二、三、四月號◇廣告研究四月號　早大廣告研究會

廣告

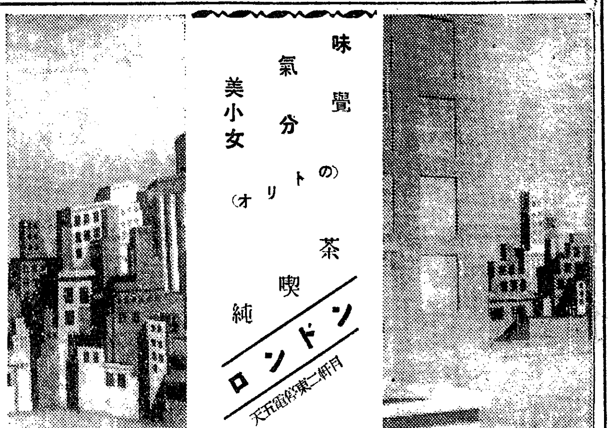
カメラは……現像 燒附 引伸 の御用は
梅田新道北へ入ル西側
ミツワ寫眞機店
電北2197

空の模樣が
晴であれ
雨であれ
君の氣持が
迷はずに來られませ
サントスへ
サントス
天五

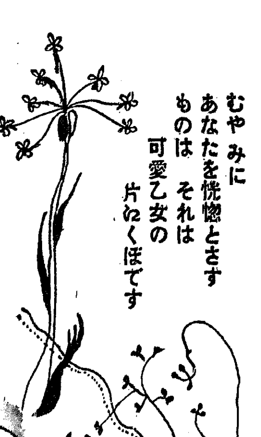
大阪驛より一分・阪急より
卅秒・阪神より二分の所
阪急前水了軒南辻西入
阪急麻雀倶樂部

皮尿科 徹夜院
法學士 江里口醫院
阪急東半丁電車道

寫眞の御用は
是非佐々木眞寫店へ
北區曾根崎交叉點東南入ル
電北4912



味覺の
氣分
美少女
（オリト）
純喫茶
ロンドン
天五電停東二軒目



むやみに
あなたを恍惚とさす
ものは　それは
可愛乙女の
片ゑくぼです
純喫茶
ルムバ
天六南へ一丁

清く靜かで
ノーブルな
高級球戲場
初心のお方
電話御利用
モチ歡迎
新京阪毛馬山総點上ル
噴水前　電火田756番
カナリヤ倶樂部

生粹北京御料理
安價・美味・滋養で
大阪一を誇る店 "中華樓"
◆ぜひ!!! 一度御試食の程を!!
御宴會は階上で
御一人前 一圓より
室はそれはく淸潔で、靜閑で、お隣に
小人數樣から百貳拾名樣までの
御宴會々場に御利用を願ひます
◆テーブルの御注文は
一卓 十五圓より
"如何樣にも御相談に應じます"
◆學生、學校關係者の御方の御宴會は
特に御相談に應じ、且つ御安く御計ひ申し上げます
階下は 二十錢!!!
"奉仕食堂"を
開設致しましたから 何卒!!御利用を!!
出前は多少に拘らず迅速に致します
折詰辨當（三十錢より）も致します
からぜひ御利用の程を御願ひ申し上げます
大阪市北區曾根崎新地一丁目十五番地
但シ市電梅田新道交叉點南へ二ツ目辻西へ入ル
（電話北二九六六番）
中華樓

待たずにうてる
麻雀クラブ
新京倶樂部（關大生經營）
新京阪　淡路驛前　四

但シ
關西大學天六學舍前
電話堀川一八九五番

バリイ女史の映畫論

―映畫を見に行きませう―（1）

アイリス・バリイ女史

寺見浩著

はしがき

この譯文はIries Barry; Lets go to the Pictures (chatto and Windus, London)の第一章 Lets go to the pictures である。最近この書の米國版が出來たことを聞いた。第八章「喜劇俳優」の項は且て「映畫評論」誌上で寺崎廣節氏が譯載されたことがある。バリイ女史は英國の人である。彼女の映畫論は素人映畫觀であつて、映畫人を以つて任ずる人にはどうかと思ふが、一般ファンには面白いものである。譯者不才なるが故に女史の名文を毀したのは慚愧に耐ないところであるが、宜しく御判讀を乞ふ。（譯者より）

一緒に茶を飲む人々、晩餐を共にする人々は如何にして午後を過そうか、どうして夜を過そうかと迷ふ時には、「映畫を見に行かう」と勸誘する。成る程、彼等も亦芝居に行き、時として、オリンピア座へ行くのは確であるだが其はそんなに偶然じやない。劇を見に行くには支度もいり、座席券も買はねばならないし、又席も取つて置かなければならぬ・其に反して、君達は我が家の臺所へ行く樣に、其程容易に映畫館に行くことが出來る。吾々の友人は、映畫館は冷いとか、觀客の禮服を賞め讃いたり、第一ヴイオリン手はとても可愛い毛髮をしてゐるとか、座席の列と列とが充分擴く離れてゐて、股を容易に割込ませ得るとか、言つて特有な映畫館を愛好するかも知れない。又或る者は全然映畫がなくともプログラムを通じて、半分でも音樂的韻律のある映畫館を好む者もある。郊外や地方に於いては、最大な映畫はその映畫館に於ても亦他に友達や隣人達が、多分居る事だらうといふ理由の下に選ばれる事屢々あつて、その場所は危險の際に逃れ得る樣な暗黑な部室にある一種の非公式的な倶樂部となるのだ。尙其より以上に貧弱な地方に於いては、同じ觀衆が每週或は週に二度は同じ映畫館に行く即ち其が彼等の一個の資產なのである。連續映畫は屢々其處で見られる、その連續映畫に於いて、主人公と女主人公とが息のつまる樣な窮境に陷つたまゝに殘されるのである。前部の坐席に陣取つて、オレンヂを食ひ、機械の匂を嗅いでゐる惡童達は、惡漢と勇壯なる主人公との出現を叫聲と喜悅の情を以つて迎へる。この事は實際からの事なのだ

然し此等總ての事を考へて見ると、二人の一寸とした友達が「活動へ行かう」と言ふ時古い映畫を意味してゐる、而もどんな映畫だつてプログラムには關係がない。一人は「コリシアム座へ行かうじやないか」と言ふ。吾々は色々と入つてゐる菓子袋を手に取る。

茶飲み友達等は映畫へ行くことを決めて仕舞ふと、スカートからパン屑を拂ひ乍ら、ブラ〳〵と出掛けて行く、そして映畫館に辿り着く

「どうだね、これは？」

「まあ、×――をやつてゐるんだわ、でも妾は彼がいけ好かないのよ」

其處で二人は道路を一つ橫切る然しそこでは旅行談――映畫での――のビラが出てゐる、此等は十分人氣があるものだ、然しこの二人にはざらではないのだ。だから再び道路をもつと坂のぼらうとする。花々しく極彩色され、憎々しく描かれたポスター1を一寸見た二人は同時に叫ぶ

「おゝ、Y―Iをやつてゐる。奴はちよいと可愛いらしいと思ふよ」そして二人は入る

二人はY―Iを見る

「女主は可愛いらしい顏付をしてゐると思はないかね……」彼等は喜劇物を得る。そして多分最初に引付けた、他のと同樣に稍長いものである。彼等はフエリックス・ザ・キャットを見さへもしたかも知れない

「彼等が映畫の上において、其等の感動的な舞誘を享ける方法が如何に上手と言つても、其の方法が如何に爲されあるかは考察出來まい。諸君が彼のフエリックスの步み寄つたり、去つたりする事がお分りなら、余は必ず死んで見せるだらう」

との批評家の必要は、此等來訪者と喧嘩する事はあるまい。即ちシネマは敎會の祈禱や、日々の新聞と同樣に殆んど統一されてゐる。吾々は期待すべきものを槪略知つてゐる。丁度君達が知つてゐる料理屋へ行く時、何か食を取るだらう、君達が愛好する料理が獻立表に無くとも食事をする。それと同樣に、何時も行く眞黑な映畫館に行く時に、たとひラモン・ナヴロが恐ろしい役割を演じて、そして君達がこの前に思つた程にこつりとめかし立てゝ見ゐなくても、やはりその映畫を見るだらう「映畫」に要求するのだ。即ち、吾人は意識して哄笑と叫聲を爲すべく要求しないだらう。君達は只或何物かゞスクリーンの上で行はれん事を要求するのだ。映畫館は靜寂で、暗黑で話する事が出來る、而も御意のまゝでない、――少くとも音樂が奏されてゐる間は――そして安價である。若し吾々が婚約してゐるとか、又散步に出掛けるならば、お互ひに手をしかと握り締めて、一緒に座り、凭るゝには、この世に於ける極樂である。

若し吾々が結婚してゐるならば映畫は屢々夫君をして倶樂部へ行かない樣にする。而も其處で有用な敎訓を學ぶことさへ出來る――映畫が婦人を喜ばす樣に作られてある如く――夫は見知らぬ婦人が如何に恐ろしく――妖婦から――戀人が妻君は如何に不思議なものであり、――女主人公から――そして婦人は如何に男らしい男性を讃美するかを學ぶ事が出來やう。宗敎的習慣が多く死滅しなかつたならば映畫は其が爲してゐる樣に成功しなかつたであらうと思ふ。現今、宗敎的な傳說、又は欲望にひたり得て、そして敎會的な生活の有する僅かな刺戟の總てを感じ得る人は殆んどあるまい、即ち、日曜祈禱、晴衣、牧師會、外出、慈善市、唱歌會は只僅少な人にのみ關するものである。平々凡々な環境とか、日常の仕事が、來る日も來る日もあるが其等は決して人々の要求する總てを供給するものではない。彼等は自分自ら蟬脫するの必要がある、又單調の鎖を破るべく必要である。彼等は感動を欲する。これは風俗の結婚した婦人、從屬的地位にある實務の總ての男女、そして工場、倉庫、店、會社にかける雜多な勞働者總てに當嵌まるのである。キリスト敎靑年會館はこれを知りて、その遊技所等を以つてこの必要を取り持つてゐる。

進化論あるにも拘らず、又進化論あるが故に――一般民衆に依りて理解され、しかも尙大部の人々に依りて信奉されてゐる樣に――人間は、尙依然として、自己を「天使よりも少し低級なもの」と感じたり、激情、嫉妬、憐憫、憎惡愛情、失望と言ふあらゆる感情を以つて、自己の胸中に天國を賦與して、其と共に參與せんとしたがつてゐる。換言せば、彼等は感情を持つてゐなければならぬ、又彼等が持つてゐる事を「感じ」ねばならぬ。

生活は非常に極限されてゐるが故に、自己を蟬脫する最も容易な方法は、代理に他の人の感情を所有してゐるのを洞察し、斯くして感情を間接に得る事にある。

男女が多藝な動物であつた時代があつた。偉大な婦人でさへ、素朴な料理、或は酒釀、或は治療の藥草を煎ずる事に依つて、退屈を慰めたものである。主婦は酒釀し燒き、紡ぎ、縫ひ、攪乳し、家畜を飼養した、男子は彼等が今尙農場でしてゐる樣に、澤山の仕事をした。其間に變化があつた。

現今では何事でも日常のことは主婦の手許にやつて來る。主婦の家事は比較的制限され、而も單調である。だから所謂「多藝な男女」は最早存在しない。人口の大半を形成する勞働者は一日の休みもなく同じ仕事をやつてゐる。

遠地にある村落に於いて、住民特に婦人の主要なる休養は、玄關の間に坐り、隣人を見守り、不思議がり……想像をめぐらしてゐる事こある。通俗小說も亦心にくつろぎを與へる。人間は、木の梢を通じてタルザンを追隨したり、デル孃の始末にをへない女主人公や典型的な主人公を憧憬して無我の境にある。然し他の人達は讀書の骨折を餘りにも多くやつてゐる。其は暫らくにして醒め、而もその幻影たるや皆不完全である。だから主婦達は映畫を見に行く。勿論この事は以前に言はれた事なのである。

扨てスクリーン上の幻影は、常に彼等に何物かを起させる。其は主人公が愛し合ひ、そして一寸の間魅せられたと見ゐてか、種々なる衣裝を着てゐるのを思ひ違ひされてか。彼女の唇を成熟した櫻桃に主人公の唇の上に落す。其は何んと綺麗なことだらう。其は殆んど自身の上に起てたかの樣である。

映畫から獲得せられるその間接的な經驗其が喚起する模倣的なる興奮は二個の方法に働くのである例へば、感動を探し索めてゐるタイピスト――決して私は亦此の事に依つて、彼女が憂愁から離脫せん事を求めてゐるのかも知れないと思ふ――は主人公と「彼女の愛人」とを惱ましてゐる惡漢を見る。彼女は其の惡漢に對し憤怒を感じてゐる。而も彼女は彼女自身を見るとか、惡漢の如く振舞つてゐる彼女を見るとかはしたくないものだからして、彼女は自分とその惡漢との間に道德的障壁を置く。彼女は人格の觀念をしとやかな嫌惡の身振を以つて推し除ける。主人公、そして勿論可愛い戀人には、同情を感ずる。彼女は彼等の方に引付けられ、無意識的に彼女自身を同一視して、彼等と共に少しく苦惱を感じ、遂には總てが當然來るべきことが來た時には、ホッとして喜ぶのである。

其は總て美しいものであり、又或る何物かである。處が寢そこべつたり、買物に出たり、速記法をやつたり、ジャムの壺に蓋をしたり、する事を繰返してゐたのでは全くつまらないことだ。其處で少女は映畫を見て、畢意ずるに生活なるものはそんなに淋しく、荒寞たるものではないと感ずる、即ち、たとひ何も彼女に起らなくとも、他の人と何等かの事件があるのだ。

記憶すべきことは、彼女がメーマアシュの高潔よりもメー・マレーの苦悶を好み、或はバスター・キートンの社會的無頓着さよりもチヤアリーの下等な復雜性を愛好するかも知れないけれども、彼女は何が起らうとも餘りに心に懸けない事である。然し乍ら、彼女が立派に泣ける時と言ふのは、主人公や女主人公が或る感動的な、而も悲慘な狀態に遭遇した爲である。諸君は惡漢が悲嘆に暮れてゐるとて、泣く者があるのを見た事があるか？否、淚を流してゐる映畫の見物人は彼自身、或は彼女自身が――男は映畫の中で充分に泣く――その女主人公であり、虐待された犬であるのだ、即ち彼の、或は彼女の淚は、一種奇妙な自己憐憫である。

勿論　其は常に其の樣に單調ではない。一寸巧妙な映畫に於いて惡漢には全く人を牽引する魅力があるかも知れない。其の惡漢は私達の總てが持つてゐる焉想する樣な伎倆と勇を發揮するかも知れない、其れ故に觀衆は惡漢と共に然しこの場合惡漢は主人公である其以上に尙復雜な映畫に於いては惡漢の力なるものは、或る微妙な力に依つつて演じられるかも知れない。例へば「ポリクスシカ」に於ける惡漢は、金色の夜叉であるそして「最後の人」に於いては、全社會秩序が指示されてゐるのである「イントラレンス」が非常に感動的な映畫であつたと云ふ重大なる理由の一つは――私はその映畫を四度見てゐるが、その見る度每に觀衆の男子を包含して、半數以上の者は淚に濡らされてゐた――眞からの惡人と言ふ者が、運命の致し方に依るの外は一人だつてゐないと言ふ事だと私は思ふ。惡しき非人間的な力が惡人の役割を演じて、其の劇中の人物に苦惱を惹起せしめるのだ。その憐憫の感情といふものは何等の拘束を受けないまゝに置かれてゐるので、觀象は他人に對して毫も不都合を掛けない苦惱の爲には、存分に悲しみの感情に浸り得ることが出來て全くの眞情を縮めて、以つて博愛心と混融せる自己憐憫を享愛してゐるので、き、而も單に賞讃に價するのみならず、人物とを同一視する事は、動作風態を純粹に觀察する時、其の同時に然し乍ら一層力強く現はれるものである。即ち二個の織合せられた、併し乍ら個々別々な經驗は、兩方共に心地よく現はれるのである。

「大得意の感情」が自ら現出して、而も「抱腹大笑」裏に引つ覆つて仕舞ふと云ふ樣な滑稽に就いての一般的意見は、餘り知れ渡つてゐるが故に、叙述すべき價値はあるまい。でつぷり肥ゐた男が一片のバナナの皮で滑り轉げたり、誰かゞ水桶の中へはまり込んだりする者がある時、私達は必ずやその被害者の上に「ワットの勝鬨の聲」を擧げるのは全くの事實である。隣人達の間に、若し起つたならば、とても滑稽であらうにと思へるやうな失敗を、チャップリンが全く天眞爛漫にやらかすとき、私達は皆喜ぶことしきりである。彼が手際良くも或る好策を弄して、仇敵に復讐するとき、私達は其が恰度私達を侮辱した奴に、爲て與れてやりたいと欲するものと、全く同じことだと感ずる。併し乍ら「大得意の感情」の面白味は、只單に總てのスラップ・スティックや道化芝居の材料たるに過ぎない。それが材能ある喜劇俳優によつて、利用されるときは、何らかゞ全く異つたものがそれに附加されるのである（未完）

雜詠

岡田實之

早大遊擊手と街を步みつゝ指さゝるれば我もはれがまし

野球にて名をあげむといふ我が友に歌のむづかしきをこま〴〵と云ふ

故鄉近き汽車ぬちに人等語れるは縣會のことなり吾もきゝて居り

圖書館の窓にせまれるビルディングに陽の影うすれ霰降り來ぬ

灯の點りし阪急百貨店の窓々に勤ける人を停留所より見居り

北滿道中物語

（其ノ二）

MS生

二、新京――吉林

M（學生）京圖線に乘つて朝鮮北境日本海を經て歸らうではないか。

F（學生）ウン贊成贊成。

N（先輩）オイ、ここが吉長線の「ホーム」だ、すぐ乘り込むことにしよう。此汽車は今は日本海迄通じ、一躍國際鐵道となつたわけさ。

F、此汽車はいつ敷設せられたか

N、明治四十年四月日支間に新奉及吉長鐵道に關する條約が締結せられ日本政府は起工資金二百十五萬圓を支那政府に貸與し其敷設を滿鐵が請負ひ大正元年十月竣工した鐵道だが其後財政が紊亂した爲日本から六百五十萬圓を貸與し財政の危急を救ひ大正七年一月から向ふ三十箇年滿鐵に委任經營された元支那國有鐵道だ。

M、此鐵道は大變迂回してゐるね

N、それには色々わけがあるよ。元來此吉長鐵道は元露國が敷設しようとしたが、日露戰爭の爲立消ゐとなつて講和談判の時日本は露國に哈爾賓以南の鐵道を渡せと要求したが、結局長春以南の鐵道しか得られなかつた、そこで東支南部線の物資を吸收し得る樣に東北へ迂回せしめ、其頂點にある下九臺驛は今でも南滿本線に榮養分を送る樞要驛だよ

F、噂をすれば影とやら、此所が下九臺ではないか、一體此附近には何が耕作せられるかね

N、包米（トウモロコシ）馬鈴薯等も作るが平地には谷子（粟）高粱大豆の主食物しか作らない、隨分大ザッパな遣り方だが、あれで支那の一日耕（七段步）に平均大豆八石半とれると言ふから農本國の面目が維持されるよ松花江上流には葉煙草、麻、藍等も出る、此頃は「ホップ」茸の栽培も研究せられ、相當有望視されて居る。

M、此線路に併行して立派な自動車道路があるね、又九不明驛の向ふに大きな工場が出來る樣だがあれは一體何だね。

N、あれは滿洲國救濟事業としての吉林―新京間の自動車道路だ又あの工場は淺野「セメント」會社を中心として五百萬圓の資本で「セメント」會社設立が決定せられたと言ふ所だ、あの山脈一帶が石灰岩と粘土層だと言ふから大したものさ。ア、もう吉林だ。

F、ここも城門とは離れて居る樣だね

N、二、三粁離れて居るよ、驛前通を四、五百行くと「ジャパンツーリスト、ビユーロー」の事務所があるから、先づそこへ行こう。之れは半官半民の旅行案內所だ

M、君が滿洲通だから案內人はいるまい。

N、所が吉林城內のことは詳く知らない、吉林「モンロー」主義の堅固だつたからね、事變前迄は支那兵や巡警に胸元に着劍を突きつけられ、ゾッとして見物など出來なかつたよ、それが今では城內附近に內地人二千七百、朝鮮人三千二百も居ると言ふのだから事變に依る犧牲者の有難味が判るね

F　全くだ當時奉天、長春、寬城子、吉林等に於ける皇軍の勇敢機敏なる奮鬪に就て軍事講話で聽いたが、今更ながら現地に來て見て感激を深からしむるね。吉林も今は平和境で發展しておりますね

案內　ハア滿洲一の風光明媚の地と稱せられ商業地としても、邦人木材商、雜貨輸出入商各五十餘軒、特產物商も近年三井、三菱、千葉、石崎、福田等大か物が店を出すことになつてをります

M、城內に大きな黑煉瓦塀を廻した家が見ゐるがなんですかね。

案內、あれが吉林省公署です

F、吉林省の面積人口はどの位ですか。

案內、昭和六年末統計で滿洲國人百十二萬一千戶、人口約七百五十八萬七千五百人、內地人八千百十一戶、人口二萬九千百五十人、朝鮮人七萬九千六百六十七戶人口四十六萬一千五百九十七人となつて居ります、事變後の日本人の數は大變增加してはつきり判りません、面積は一五、五八〇平方日里で、ほゞ日本々土の面積と伯仲です。

M、北吉林省城の人口はどの位です。

案內　現在滿洲國人十七萬、內地人二千七百朝鮮人三千二百と謂はれております。

F　明日の準備もあるから「ホテル」に案內してくれ給へ、內地人旅館があるでしよう。

案內　あります、大阪屋、名古屋館、日淸ホテル、東京、初音、金千代なか〳〵設備も完備してゐます、宿泊料は一泊二食で參圓乃至七圓五十錢見當です、大阪屋に御案內しましよう

三、吉林――敦化

M　此鐵道は乘り心地が良いね

N　此鐵道は吉林から敦化に行く[illegible]間吉敦鐵道で大正[illegible]年十月當時支那交通部總長葉恭綽と時の滿鐵代表松岡洋右氏との間に、工費一千八百萬圓で工事請負契約締結され、大正十五年六月起工、昭和二年十月竣工の延長百二十哩だよ、併し今では吉長、吉敦、敦圖の三線が合併し京圖鐵道となつた

M、ア、モー拉法（ラファー）だ起きろ〳〵拉法だ。

F、なんだ？「ラバー」だと。

M、「ラバー」ではない拉法だよ君は眞面目なくせに時々とぼけたことを云ふね。

N、ハヽ、ここは北滿の中心市場哈爾賓に向ふ拉賓線の分岐點だ

M、今迄の驛構內に枕木や角材が山積してあつたが、奧地には大森林があると見ゐるね。

F、有るだらうさ、僕等は學校敎練の講話で、日本が經濟封鎖されても、日滿提携さへ確實に出來たら米材に代るに立派な木材が興安嶺から長白山にかけて控へてゐる、米國肥料に代るに豆粕はお手のもの、窒素工業は松花江水利で無限、鐵は鞍山本溪湖、石炭は撫順小麥粉は北滿、羊毛は興安省「ケルロン」河流域から自給自足丈けは出る、唯棉花丈けが少し困難だが、之とて南滿及南鮮地方は相當有望視せられて居る、何もびく〳〵するなと激勵された位だ、君も覺ゐて居るだらう。

N、その通りだよ、君は大に滿洲に「ラバー」して居るわけだね、威虎嶺以東は十數里の森林續きだ、此邊の白樺密林もどうだ、見給へ。

M、敦化に下車して視察しようではないか、內地人宿屋があるだらう

N、あるよ、驛の二階に敦化「ホテル」驛前に大和旅館、東門外に大正館、どれか選んで旅裝を解こう

F、敦化の人口はどの位か

N、昭和八年八月末現在で、內地人戶數[illegible]人口八五三、[illegible]九二八、[illegible]五五七、[illegible]

[illegible]十數名が露兵を追拂ひこゝに宿營したことがある。それが敦化入りの始めだ。其後日本男女や鮮人も入りこんだが支那官憲、不逞鮮人の壓迫を受け、一進一退見るべき發展を遂げなかつたそれが堅實な發展を遂げたのは事變後皇軍入敦以來さ

F、縣の面積はどの位あるか。

N、六百二十五平方邦里あつて、其大部分は森林地帶と未墾地だ既耕地は七萬三千餘町步、此地方の水田は將來屬目されて居る

M、こゝは中々古都の風貌を備へて居るが、一體いつ頃出來たのか。

N、二千年以來の街さ、最も特に知られたのは淸朝以來の事で、敦化は淸朝發祥地として傳へられて居る。

F　もう「ホテル」に歸らうではないか

M　「ホテル」の二階から驛の總ての貨物ホームを見ると、山爲す貨物があるが、移出入物資はどの位あるか

N　移出が年額百四、五十萬圓、移入が約百萬圓とのことだ（つゞく）

音樂講座

音樂を味ふには

（その二）

本田聰聲

旋律論と和聲法

旋律は連續的に聽かれる秩序立つた音の一連鎖である、和聲は同時に聽かれる秩序立つた音の一連鎖である、節奏はアクセントに依つて強められた拍節單位の均齊的一郡である

音樂の生命は旋律である此の旋律なる言葉の完全な槪念の中には次の如く二つの要素が合體してゐる和聲的調整のない音の連結は音樂上に於ける完全な要素とはならない又和聲的調整があつても節奏が缺けて居れば之亦駄目である作曲の美と發想特に感動性は和絃の形に於いて旋律に伴ふ和聲（同時に響く旋律的音程の一郡）若しくは旋律其自身の中に隱れてゐる和聲（繼續的に響く和聲的音程）に起因してゐるのである、旋律は分解された和聲である、和聲は綜合された旋律である形式的根本的原則は旋律の反復である、其れは音樂にとつて恰も詩に於ける思想の如きものである

旋律其自身も亦樂言とか樂句とか樂段とか云はれてゐる小部分から成立してゐるのである、そして之等のもの〻個性は節奏や音程の特質に依つて定まるのである旋律は悉くかの音樂に對して無智な人や未熟な人達が曲として認める單純な種類のものばかりでは無い其等は皆整つた組織を有してゐるのである或る單純な民謠調を解剖して見るなら此事が明に解るであらうし又同時に極めて簡單な節でも記憶に殘る特異點を有してゐるものである事を示すであらう何故なれば總て音樂は散文や詩の樣に連續せる文章から出來て居り「カンマコロン、フルストップ」に依り切られてゐる音樂上に於いて此のセンテンスはフレイズと呼ばれる連續せる樂の間の極めて短かき休止から長い休止に至る迄種々なる休止が樂の流の中に現れるのである音樂上に於ける其の一つの郡は小節と呼ばれる太い線で限られてゐる小節の目的は音樂上の節奏的小區分を示す爲である此等の郡の第二第三第四第五第六第七は悉く第一郡の反復に過ぎないのである此の第一郡は旋律の萠芽であつて以上のものとは唯音階の度を異にしてゐるに過ぎないのである音樂を分析する人達は一郡を樂言と云ひ第一を以つて始まる連續的の二個の郡を樂句と呼び二個の樂句を樂段と呼び二個の樂段を旋律と呼ぶのである此を聽者に對して作曲家の構圖の何物かを認めさせる爲に繰りかへして記憶されなければならないものである。勿論其れは其の作曲の旋律を音樂上の最高目的に置く場合に限られるのである反復は此の旋律を創造する爲に民謠作曲家が用ひた構成的原則であつて總ゆる音樂構成上の基礎的原理である

此の事實を多數の人々に認識せしめる爲には記憶の活動が音樂を聽く上に最も重要であり從つて音樂上の反復は其の運動を容易ならしめるものだと云ふ事を思ひ起させれば十分である又旋律の中には大きな部分全體の反復もある旋律の樂言間に存在する聯結は詩歌に於ひても同樣に一種の美の原則を說明してゐる其れは反復に次ぐ最も重要なる音樂構成上の要素であると共に其の必要の動力でもある何故なれば此の原則が完全無缺な形造に音郡の反復を指導するからである

其れは又音律關係の原則であつて其れを十分に論ずるには自分のゆるされてゐる範圍を超へて實に深く音樂科學の領域に入り込まなければならない

本學交響管絃樂團の活躍期待さる

豫て本學音樂界の不振を一般から叫ばれてゐた時、關西大學交響管絃樂團が結成され、その藝術的良心に燃ゆる同團は各々猛練習をして居たが、その第一回演奏として去る二月十一日朝日會館に於て朝日新聞主催のもとに行はれた祝賀演奏會出演こそ關大交響管絃樂團の存在を世間に知らしめ、大いに氣を吐いたのであつた

尙同樂團は團則を定めて、その堅實なる發展を期してゐる

部員募集

學生諸氏よ

藝術の最高峰、音樂の世界を欲求むられよ

君達は若い、若ければこそ熱もある

其處に向上がある、そこにこそ本質的な欲求が展開されて行くのだ

來れ吾が交響樂團へ

音の世界は千里山の學園からだ

音樂藝術に精進する同志よ

關西大學交響管絃樂團

申込所　本學新聞部宛に申込下さい

本紙定價　一部金五錢

ヤングマン服裝專門

若人よ　服裝は光る……

黑セルのなんとスマートな

新らしい背廣の步み

若人よ　新らしい服裝は

君たちの心を良く理解する

カワイのオッサンの處へ……

河合洋服店

日本橋一丁目交叉點角

電話南三三八一番

洋服學校事業部

心齋橋

學生服

學生オーバー

純毛黑紺セル(假縫付)　上下1組　¥15.00より

霜降夏服　上下1組　¥4.00より

長府屋洋服店

電堀(35)510番

市電扇橋電停前

關大制服はゼヒ

親切丁寧な

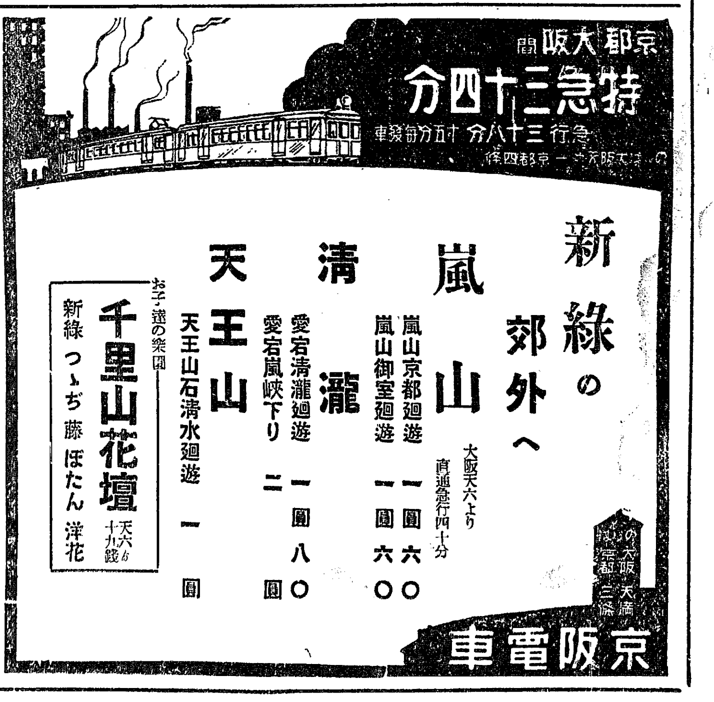
皆樣の中村洋服店

新京阪大學前停留所前

關西大學指定

ナンバ洋服店

天六學舍前　電堀1287


のりば 大阪天滿 京都三條

京都大阪間　特急三十四分

急行三十八分　十五分每發車

のりば大阪天六―京都四條

新綠の郊外へ

嵐山　大阪天六より直通急行四十分

嵐山京都廻遊　一圓六〇

嵐山御室廻遊　一圓六〇

清瀧

愛宕清瀧廻遊　一圓八〇

愛宕嵐峽下り　二圓

天王山

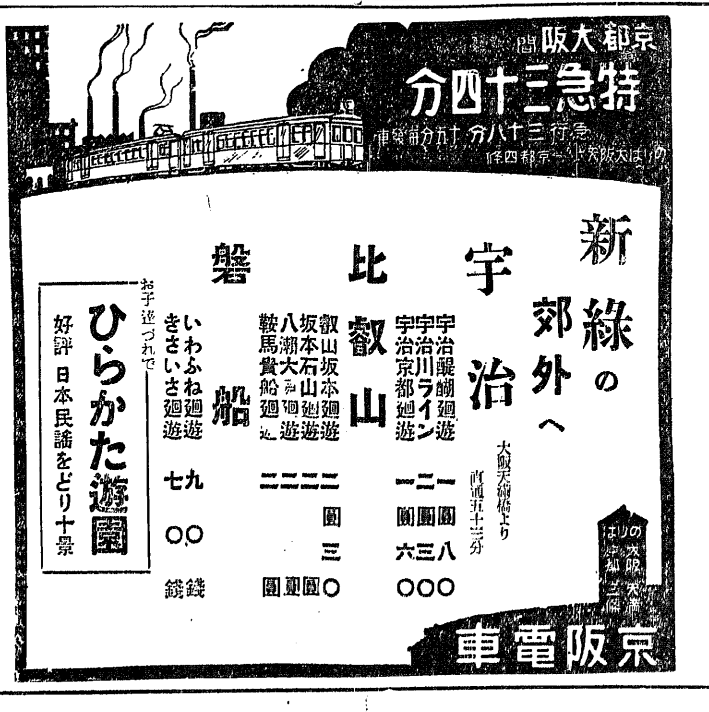
天王山石淸水廻遊　一圓

お子達の樂園

千里山花壇　天六から十九錢

新綠　つゝぢ　藤　ぼたん　洋花

京阪電車


のりば 大阪天滿 京都三條

京都大阪間　特急三十四分

急行三十八分　十五分每發車

のりば大阪天六―京都四條

新綠の郊外へ

宇治　大阪天滿橋より直通五十三分

宇治醍醐廻遊　一圓八〇

宇治川ライン　二圓三〇

宇治京都廻遊　一圓六〇

比叡山

叡山坂本廻遊　二圓三〇

坂本石山廻遊　二圓

八瀨大原廻遊　二圓

鞍馬貴船廻遊　二圓

磐船

いわふね廻遊　九〇錢

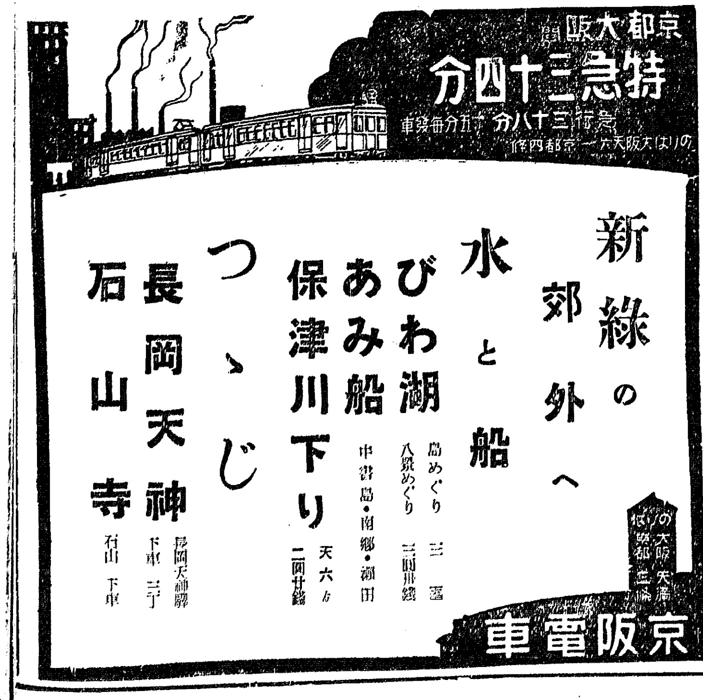
きさいち廻遊　七〇錢

お子達づれで

ひらかた遊園

好評　日本民謠をどり十景

京阪電車


のりば 大阪天滿 京都三條

京都大阪間　特急三十四分

急行三十八分　十五分每發車

のりば大阪天六―京都四條

新綠の郊外へ

水と船

びわ湖　島めぐり　三圓　八景めぐり　二圓卅錢

あみ船　中書島・南郷・瀨田

保津川下り　天六から　二圓廿錢

つゝじ

長岡天神　長岡天神驛下車　三丁

石山寺　石山下車

京阪電車